

2023 年版

EMRT集計ツール 操作マニュアル

目次

1	前提条件	
1.1	ツール使用の前提条件	2
2	事前準備	
2.1	ツール使用前の事前準備	2
3	概要	
3.1	本ツールの概要	3
3.2	本ツールの流れ	4
3.3	フォルダ構成早見表	5
4	操作手順	
4.1	手順 1 : ツールを起動する	6
4.2	手順 2 : EMRT を格納したフォルダを指定する	7
4.3	手順 3 : EMRT のチェックをする	8
4.4	手順 4 : エラー／ワーニングの内容を確認する	10
4.5	手順 5 : 集計対象フォルダを指定する	14
4.6	手順 6 : EMRT(ブランク)を指定する	15
4.7	手順 7 : EMRT を集計する	16
4.8	手順 8 : 集計結果レポートと、提出用 EMRT の内容を確認する	19
5	対応方法	
5.1	ツールが動かない方は？【EXCEL2007】	21
5.2	ツールが動かない方は？【EXCEL2010】	25
5.3	ツールが動かない方は？【EXCEL2013 / EXCEL2016 / EXCEL2019 / EXCEL2021】	28
5.4	ツールが動かない方は？	31
6	補足	
6.1	エラーメッセージ一覧	32
6.2	ワーニングメッセージ一覧	33
6.3	チェック処理後、回収した EMRT の移動先	35
6.4	集計結果レポートの出力内容	36
6.5	複数回に分けて集計した結果内容をまとめる方法	42
6.6	集計結果レポートの確認	44
6.7	提出用 EMRT の確認	47
6.8	処理が動作しない場合は？	48
6.9	会社情報等の入力(1 / 2 ページ)	50
6.10	会社情報等の入力(2 / 2 ページ)	51
6.11	会社情報等の入力(保存ボタンの説明)	54
6.12	会社情報等の入力(呼出ボタンの説明)	55
6.13	会社情報等の入力(クリアボタンの説明)	56

1. 前提条件 (1.1) ツール使用の前提条件

- 本ツール使用にあたっての前提条件は以下の通りです。
 - ① EXCEL2007/2010/2013/2016/2019/2021 のいずれかである。(推奨)
 - ② EXCEL のマクロが使用可能である。

2. 事前準備 (2.1) ツール使用前の事前準備

- ① 下記 URL より本ツール (2023 年版集計ツール)、および EMRT の最新版をダウンロードしてください。
<https://home.jeita.or.jp/emrt/login.html>

※帳票は上記 URL に掲載のものをご利用ください。
- ② ①にてダウンロードした EMRT は、本マニュアル P. 15 [(4.6) 手順 6] にて提出用 EMRT として使用します。
※申告範囲「B:Product」を選択する場合は P. 15 の注意事項をご確認ください。
- ③ サプライヤーから収集した EMRT を、集計ツールを使用するパソコンに保管してください。

3. 概要

(3.1) 本ツールの概要

本ツールを用いて、サプライヤーから回収した EMRT の内容の“チェック”と“集計”が行えます。

<チェック機能>

回収した EMRT の回答内容に不備がないか確認ができます。

チェックの結果によって、回収した EMRT は「フォロー対象フォルダ(Follow)／集計対象フォルダ(Import)」へそれぞれ振り分けられます。

※詳細につきましては、本マニュアル P. 35 [(6.3)チェック処理後、回収した EMRT の移動先] をご参照ください。

回答内容に不備があった場合には、リストを出力します。

※メッセージの詳細につきましては、本マニュアル P. 32 [(6.1)エラーメッセージ一覧]、P. 33 [(6.2)ワーニングメッセージ一覧] をご参照ください。

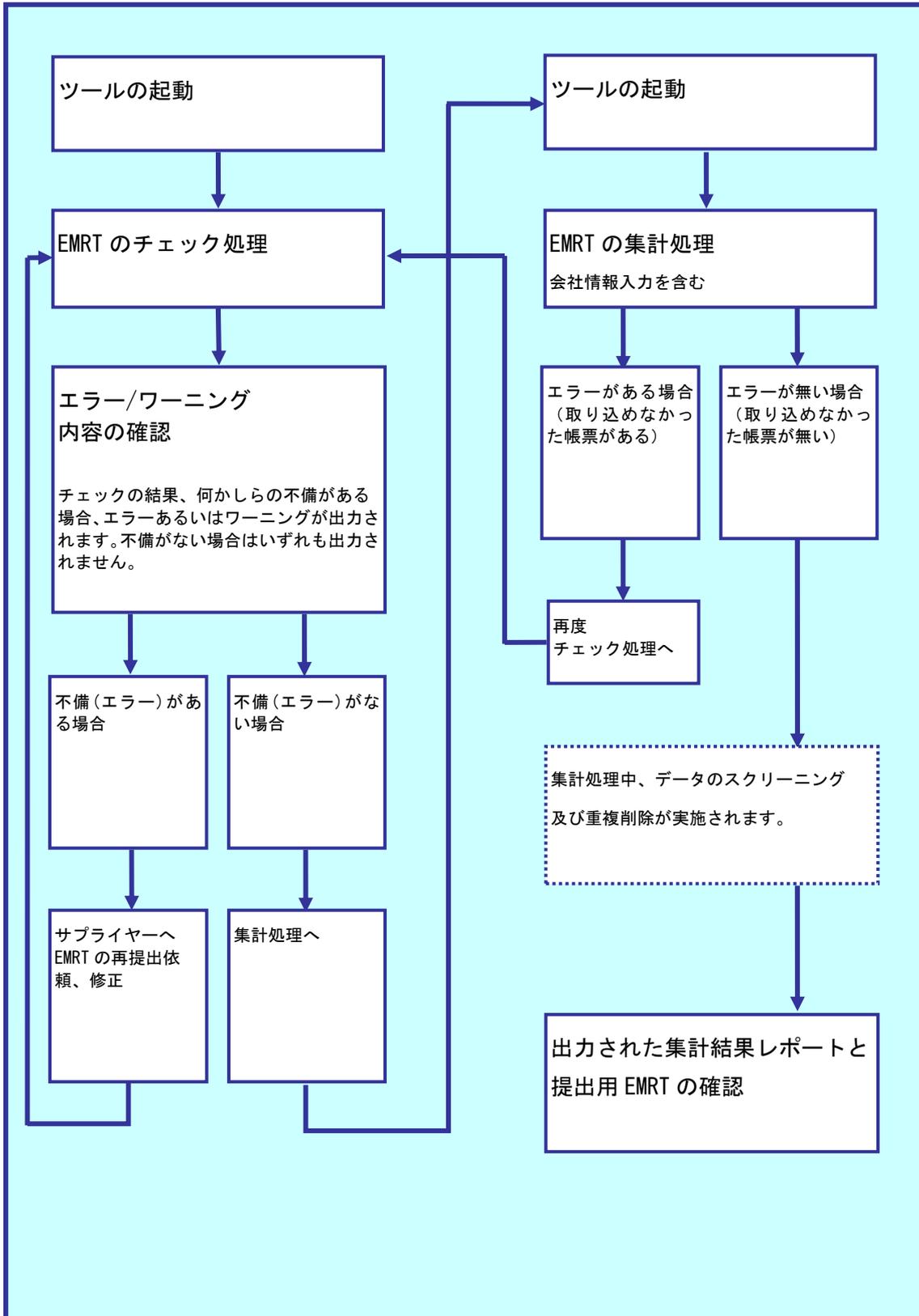
<集計機能>

集計したデータの分析に活用いただける EMRT 一覧表と提出用の EMRT が作成されます。

※EMRT 一覧表の詳細につきましては、本マニュアル P. 36-41 [(6.4)集計結果レポートの出力内容] をご確認ください。

3. 概要

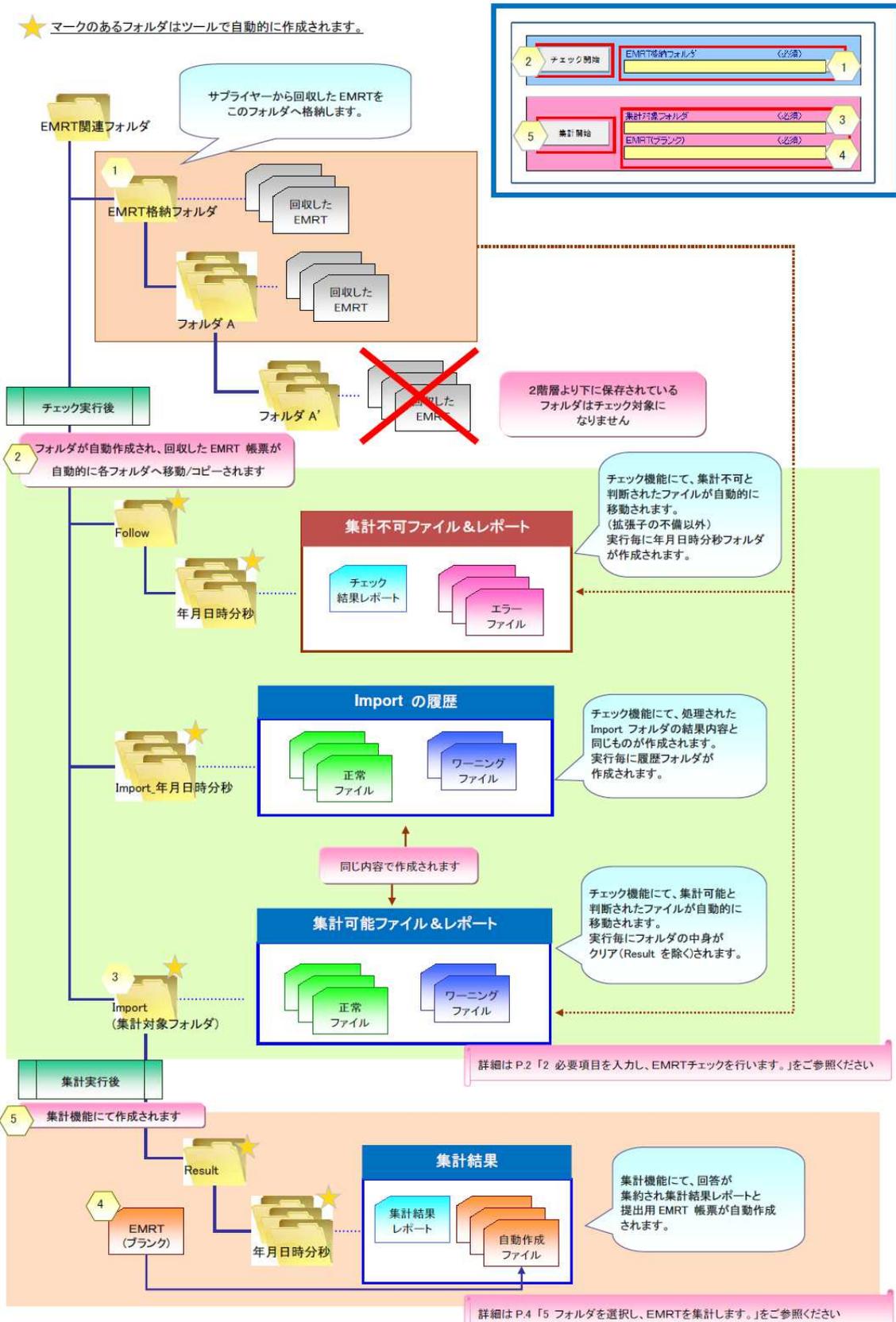
(3.2) 本ツールの流れ



3. 概要

(3.3) フォルダ構成早見表

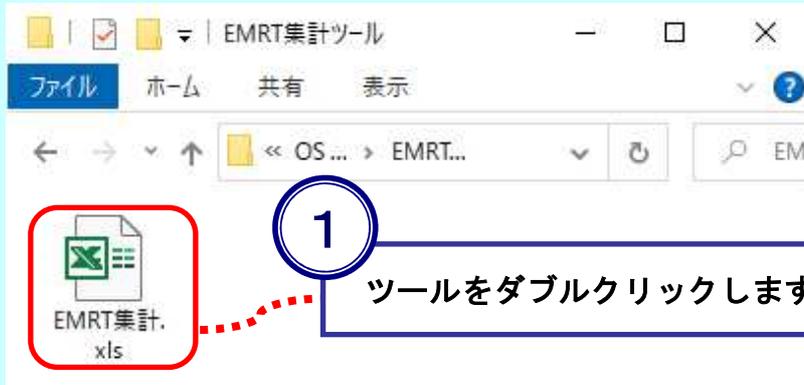
★マークのあるフォルダはツールで自動的に作成されます。



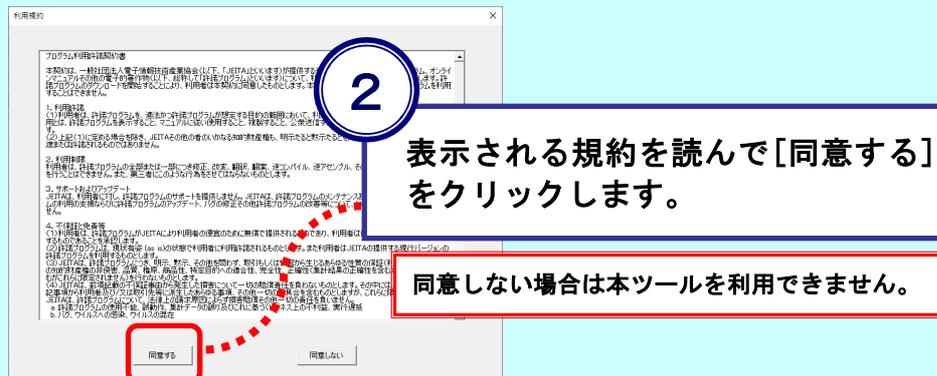
2	チェック前提	EMRT格納フォルダ	<必須>	1
5	集計前提	集計対象フォルダ	<必須>	3
		EMRT(ブランク)	<必須>	4

4. 操作手順 (4.1) 手順 1 : ツールを起動する

ツールを選択し、起動してください。



ツールが起動し、利用規約が表示されます。



ツールが表示されます。

チェック開始 EMRT格納フォルダ (必須)

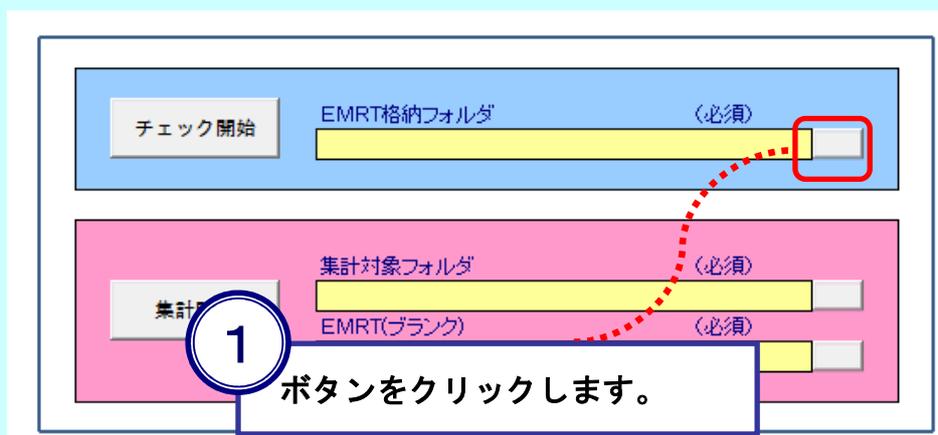
集計開始 集計対象フォルダ (必須)
EMRT(ブランク) (必須)

4. 操作手順

(4.2) 手順 2 : EMRT を格納したフォルダを指定する

サプライヤーから回収した EMRT が格納されているフォルダを指定してください。

※一度に取り込むファイル数の目安は1万ファイル未満です。ただし、上記に満たない場合でも、情報量によっては取り込めない可能性があります。



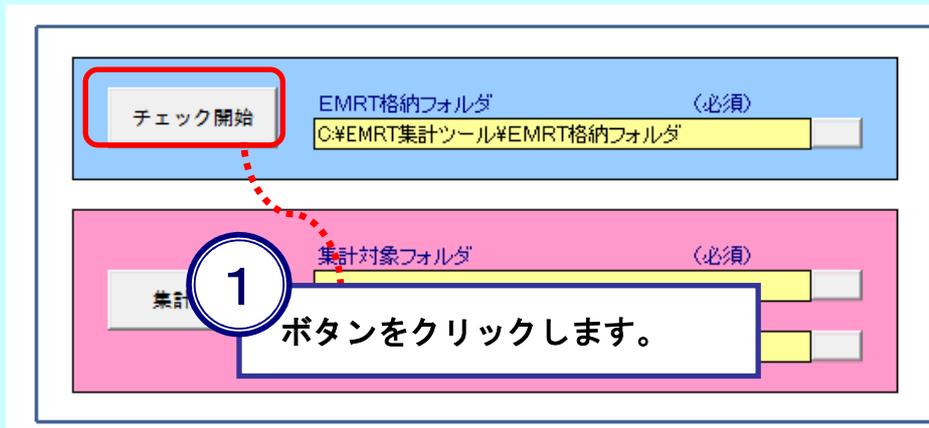
EMRT 格納フォルダ選択画面が開きます。

2 EMRT が格納されているフォルダを指定します。指定したフォルダの一つ下にあるフォルダ内にあるファイルまで取り込みます。
※P. 5[(3.3) フォルダ構成 早見表]をご参照ください

3 [OK] をクリックし、フォルダを確定します。

4. 操作手順 (4.3) 手順 3 : EMRT のチェックをする

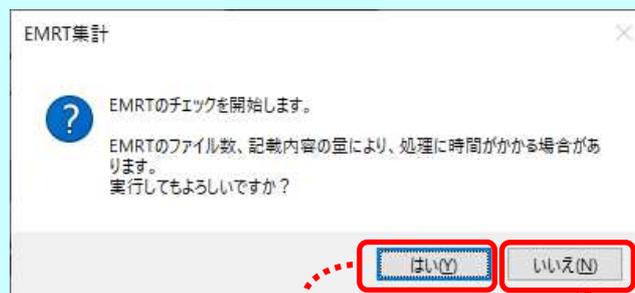
「チェック開始」で、指定されたフォルダに格納されている EMRT の回答内容のチェックを行い、チェック結果レポートが出力されます。



※「チェック開始」をクリックしても、処理実行前メッセージが出力されない場合は、本マニュアル P. 21 [5. 対応方法] をご確認ください。



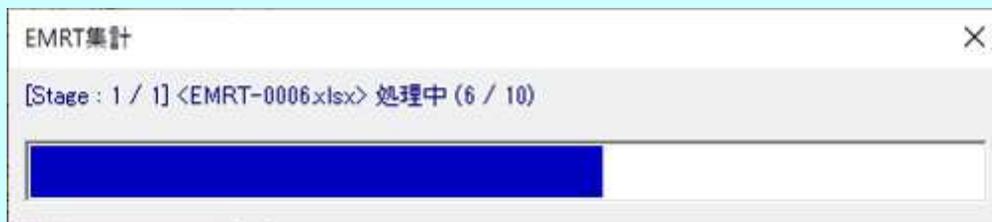
確認メッセージが表示されます。



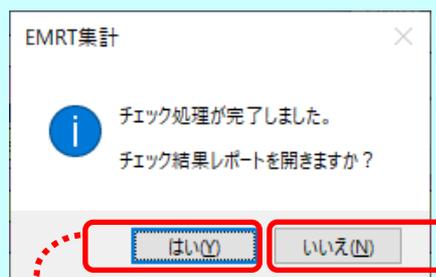
[はい]をクリックした場合、
処理を続行します。

[いいえ]をクリックした場合、
処理を中止します。

チェック処理の進捗状況が表示されます。チェック処理が終了するまでお待ちください。



チェック結果レポートを開くか、確認メッセージが表示されます。



[はい(Y)]をクリックした場合、
チェック結果レポートが表示
されます。
エラー／ワーニング
内容を確認してください。

(P. 11 [(4.4)手順 4]の④へ)

[いいえ(N)]をクリックした場合、
結果レポートは表示されず
ポップアップが閉じられ、ツール
起動時の画面に戻ります。

(P. 10 [(4.4)手順 4]の①へ)

4. 操作手順

(4.4) 手順 4: エラー／ワーニングの内容を確認する

チェック処理にて、回収した EMRT に不備があった場合は、エラー／ワーニングリストが出力されます。
内容を確認の上、適切な対応を行ってください。

The screenshot shows a software interface with two main sections. The top section, labeled 'チェック開始' (Check Start), has a field for 'EMRT格納フォルダ (必須)' (EMRT storage folder) with the path 'C:\EMRT集計ツール\EMRT格納フォルダ' entered. The bottom section, labeled '集計開始' (Start Collection), has fields for '集計対象フォルダ (必須)' (Collection target folder) and 'EMRT(プランク) (必須)' (EMRT (plankton)), both with empty input fields. A red dashed line connects the path in the top field to the '集計対象フォルダ' field in the bottom section.

1

チェック処理時に指定したフォルダと同じ階層に作成される「Follow」フォルダを開きます。



2

フォルダはチェック処理時に自動的に作成されます。
フォルダ名は、チェック時の「年月日時分秒」が付与されています。

フォルダ内には、不備のある CMRT とチェック結果レポートが格納されています。

エラー／ワーニング内容はチェック結果レポート
「__Check_Report_年月日時分秒.xls」に出力されます。



3

チェック結果レポート「__Check_Report_年月日時分秒.xls」を開き、エラー／ワーニング内容を確認します。



結果レポート：今回の処理総件数、集計可能件数と内訳、集計不可件数と内訳が確認できます。

	A	B	C	E
1	チェック処理件数			51件
2		集計可能		40件
3		ワーニング		27件
4		正常		14件
5		集計不可		11件
6		エラー		11件
7				
8				
9				
10				

4

エラー／ワーニングがある場合は、該当するシートで不備の内容を確認します。

(エラーおよびワーニングがない場合は、
P. 14 [(4.5)手順 5] の①へ)

エラーリスト：EMRT 毎のエラー内容の詳細を確認できます。

	D	E	F	G	H
1	会社固有の識別番号	エラー行	エラー内容		
2		-	E06. 取り込みができないバージョンの帳票です。		
3	D＃check＃RMLEMRT_E01.xlsx	-	E01. 「Declaration」シートの会社情報(会社名)が未回答です。		
4		-	E04. ファイルにパスワードが設定されています。		
5	D＃check＃RMLEMRT_E07.xlsx	-	E07. 指定以外のシートが存在します。(Dummy)		
6		-	E08. 「Declaration」シートがありません。		
7					
8					
9					

結果レポート エラーリスト ワーニングリスト

5

出力された「エラー内容」に応じて適切な対応を行い、再度チェック処理を実行してください。

詳細につきましては、本マニュアル P.32 [(6.1) エラーメッセージ一覧] をご参照ください。

ワーニングリスト：EMRT 毎のワーニング内容の詳細を確認できます。

F	G	H
1	申告範囲の説明	ワーニング内容
2	-	W20. 「Declaration」シートの[コバルト]の質問No.1と質問No.2が「Yes」であるにもかかわらず、質問Cが未回答です。
3	-	W20. 「Declaration」シートの[マイカ]の質問No.1と質問No.2が「Yes」であるにもかかわらず、質問Cが未回答です。
4	-	W15. 「Declaration」シートの[マイカ]の質問No.1と質問No.2が「Yes」であるにもかかわらず、質問No.3が未回答です。
5	-	W17. 「Declaration」シートの[マイカ]の質問No.1と質問No.2が「Yes」であるにもかかわらず、質問No.5が未回答です。
6	-	W18. 「Declaration」シートの[マイカ]の質問No.1と質問No.2が「Yes」であるにもかかわらず、質問No.6が未回答です。
7	-	W19. 「Declaration」シートの[マイカ]の質問No.1と質問No.2が「Yes」であるにもかかわらず、質問No.7が未回答です。
8	-	W22. 「Declaration」シートの質問No.1が「Yes」であるにもかかわらず、備考欄が未入力です。
9	-	W23. 「Declaration」シートの質問No.1が「Yes Using Other Format (Describe)」であるにもかかわらず、備考欄が未入力です。
10	-	W09. 「Declaration」シートの質問No.2で[コバルト]が「Yes」と回答されましたが「Smelter List」シートに[コバルト]がありません。
11	-	W11. 「Smelter List」シートの必須項目(製錬所名)が未記入です。(Smelter List)
12	-	W11. 「Smelter List」シートの必須項目(製錬業者所在地:国)が未記入です。(Smelter List)

6

出力された「ワーニング内容」に応じて適切な対応を行い、再度チェック処理を実行してください。

詳細につきましては、本マニュアル P.33 [(6.2) ワーニングメッセージ一覧] をご参照ください。

4. 操作手順 (4.5) 手順 5 : 集計対象フォルダを指定する

「集計対象フォルダ」欄はチェック処理後、自動で入力されます。
他のフォルダを指定したい場合は右側のボタンをクリックし、選択してください。

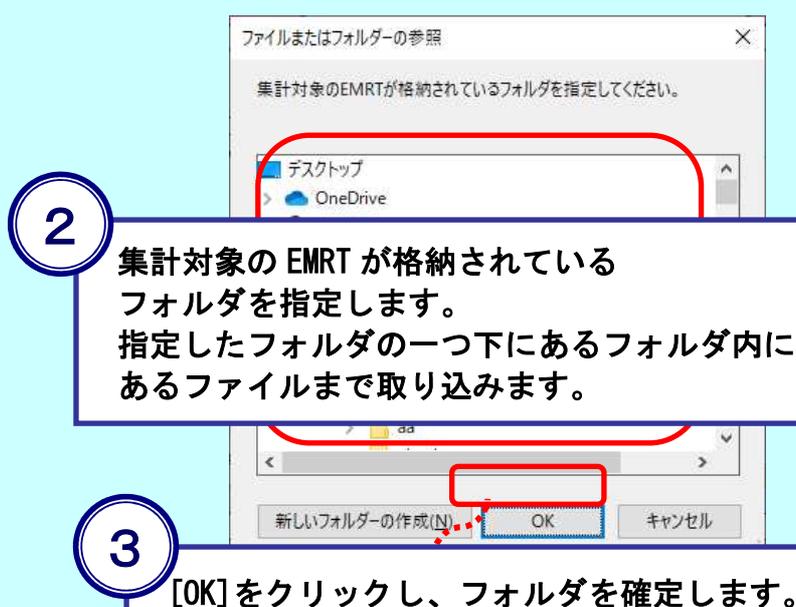
※変更しない場合は P. 15(4.6)へお進みください。



※一度に取り込むファイル数の目安は1万ファイル未満です。ただし、上記に満たない場合でも、情報量によっては取り込めない可能性があります。



集計対象フォルダ選択画面が開きます。



4. 操作手順 (4.6) 手順 6 : EMRT (ブランク) を指定する

集計結果を書き込むための、ブランクの EMRT を指定してください。

※EMRT は必ず、Rev 1.2 をご利用ください。

※申告範囲 : 「B:Product」 で集計の場合は、EMRT (ブランク) の Product List に品番情報をご入力ください。



1

ボタンをクリックします。



EMRT (ブランク) の選択画面が開きます。



2

提出用 EMRT の元となる、記入前の EMRT を指定します。

3

[OK] をクリックし、フォルダを確定します。

4. 操作手順 (4.7) 手順 7 : EMRT を集計する

「(4.5) 手順 5 : 集計対象フォルダを指定する」で指定したフォルダ内にある EMRT の集計を行います。
 結果、集計結果レポートと、提出用 EMRT ファイルが作成されます。
 ※提出用 EMRT が複数枚になる場合もあります。

1 ボタンをクリックします。

集計対象フォルダ (必須)
 C:\EMRT集計ツール\Import

EMRT(プランク) (必須)
 C:\EMRT集計ツール\EMRT.xlsx

会社情報等の各項目を入力します。

会社情報等の入力 (1/2)

会社情報

会社名 (*)

甲告範囲 (プルダウン)

会社団体の識別番号

住所

連絡先担当者名 (*)

連絡先担当者の電子メール (*)

連絡先担当者の電話番号 (*)

回答担当者名 (*)

回答担当者の姓

回答担当者の電子メール (*)

回答担当者の電話番号

記入日 (*)

1 / 2 ページ

会社情報等の入力 (2/2)

A. 責任ある証物関連方針を確定しましたか? (*)

B. 責任ある証物関連方針を確定しましたか? (プルダウン)

C. 責任ある証物関連方針を確定しましたか? (プルダウン)

D. 責任ある証物関連方針を確定しましたか? (*)

E. 責任ある証物関連方針を確定しましたか? (プルダウン)

F. 責任ある証物関連方針を確定しましたか? (プルダウン)

G. 責任ある証物関連方針を確定しましたか? (*)

2 / 2 ページ

2

会社情報 1/2 ページおよび 2/2 ページの各項目を入力します。
 (黄色の項目は入力必須です)

項目の入力が完了したら、2/2 ページの「OK」ボタンをクリックします。

※会社情報等入力の詳細手順は、P. 50 [(6.9) 会社情報等の入力 (1/2 ページ)]
 P. 51 [(6.10) 会社情報等の入力 (2/2 ページ)] をご参照ください。

3

必要に応じ、入力した会社情報等の「保存」、「呼出」、「クリア」ができます。
※各ボタンの詳細手順は下記をご参照ください。

「保存」ボタン : P. 54 [(6.11) 会社情報等の入力 (保存ボタンの説明)]

「呼出」ボタン : P. 55 [(6.12) 会社情報等の入力 (呼出ボタンの説明)]

「クリア」ボタン : P. 56 [(6.13) 会社情報等の入力 (クリアボタンの説明)]

1/2 ページ

2/2 ページ

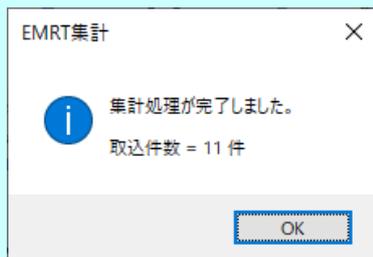
[はい]をクリックした場合、
処理を続行します。

[いいえ]をクリックした場合、
処理を中止します。

集計処理が開始し、進捗状況が表示されます。
集計処理が終了するまでお待ちください。



取り込んだ EMRT に
エラーがない場合

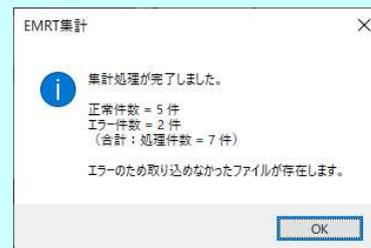


4

完了メッセージが表示
されます。出力された
集計結果レポートと、
提出用 EMRT を確認
してください。

(P. 19 [(4.8)手順 8] へ)

取り込んだ EMRT に
エラーがある場合



5

完了メッセージが表示
されます。
再度チェックを実行し、
必要な修正を行って
ください。

(P. 8 [(4.3)手順 3] へ)

4. 操作手順

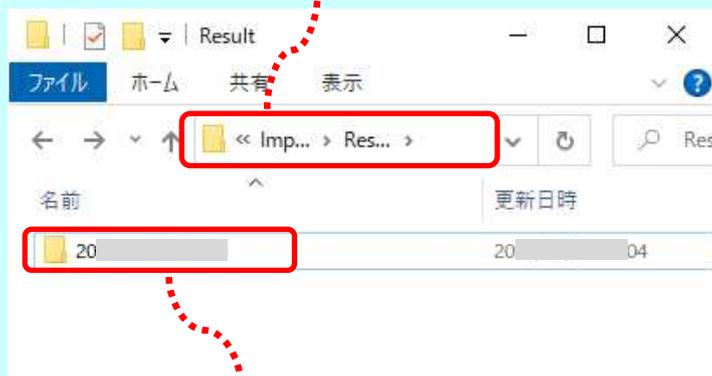
(4.8) 手順 8 : 集計結果レポートと、提出用 EMRT の内容を確認する

EMRT 一覧表と提出用 EMRT は、「Result」フォルダ内に作成されます。

The screenshot shows two sections of a software interface. The top section, titled 'チェック開始' (Check Start), has a label 'EMRT格納フォルダ' (EMRT Storage Folder) with a '(必須)' (Required) note and a text input field containing 'C:\EMRT集計ツール\EMRT格納フォルダ'. The bottom section, titled '集計開始' (Start Calculation), has a label '集計対象フォルダ' (Calculation Target Folder) with a '(必須)' (Required) note and a text input field containing 'C:\EMRT集計ツール\Import'. Below this, there is a label 'EMRT(ファイル)' (EMRT (File)) with a '(必須)' (Required) note and a text input field containing 'C:\EMRT集計ツール\EMRT.xlsx'.

1

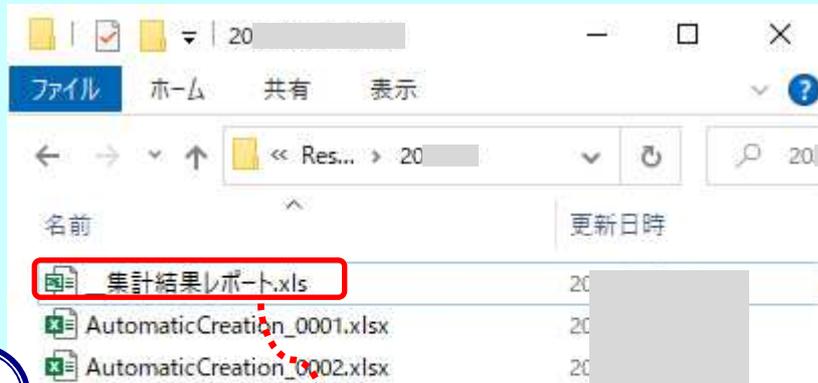
「集計対象フォルダ」の「Import」フォルダ直下に作成される「Result」フォルダを開きます。



2

フォルダは集計処理時にツールで自動的に作成されます。フォルダ名は、集計時の「年月日時分秒」が付与されています。

集計された内容は集計結果レポート(__集計結果レポート.xls)に出力されます。

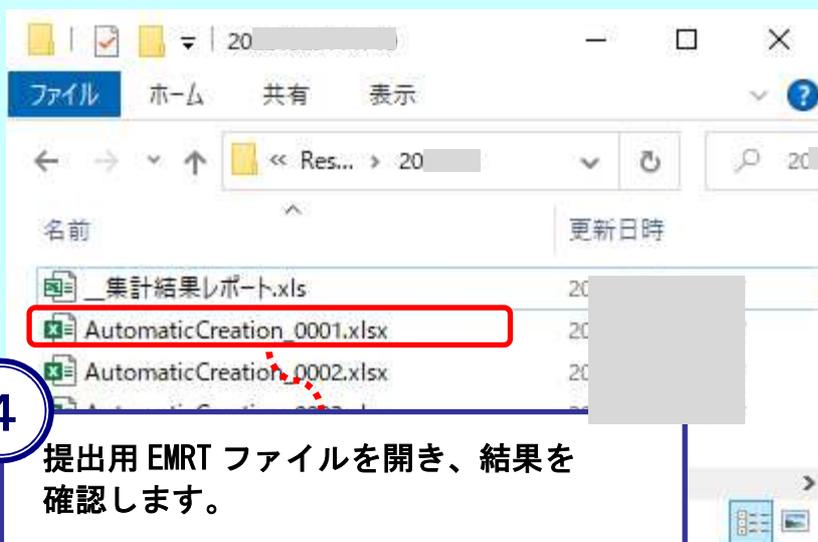


3

集計結果レポート(__集計結果レポート.xls)を開き、集計結果を確認します。

※詳細につきましては、本マニュアル P. 36 [(6.4)集計結果レポートの出力内容] をご参照ください。

提出用 EMRT は、「(4.7)手順7：EMRT を集計する」の会社情報等の「作成する EMRT のファイル名」で入力した文字に追加で連番4桁が付与されています。EMRT が複数枚出力される際には連番が「0001」「0002」となります。



4

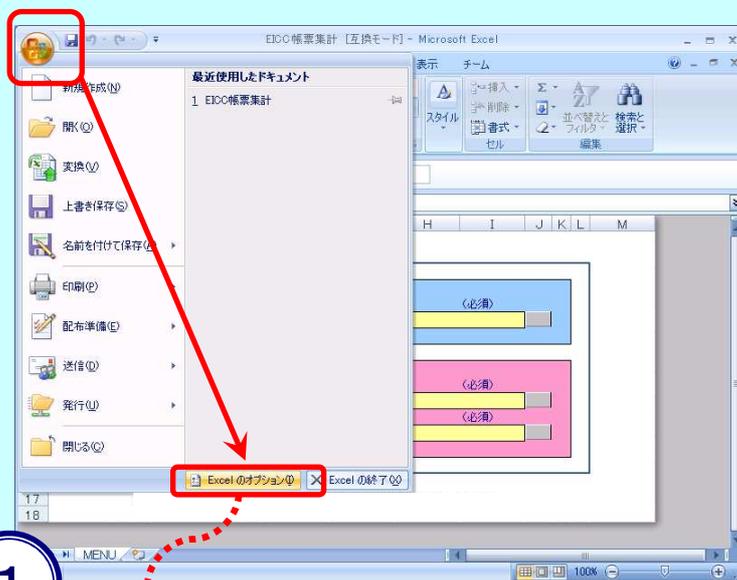
提出用 EMRT ファイルを開き、結果を確認します。

確認後、依頼元に帳票を送付いただき、完了となります。

5. 対応方法 (5.1) ツールが動かない方は？【EXCEL2007】

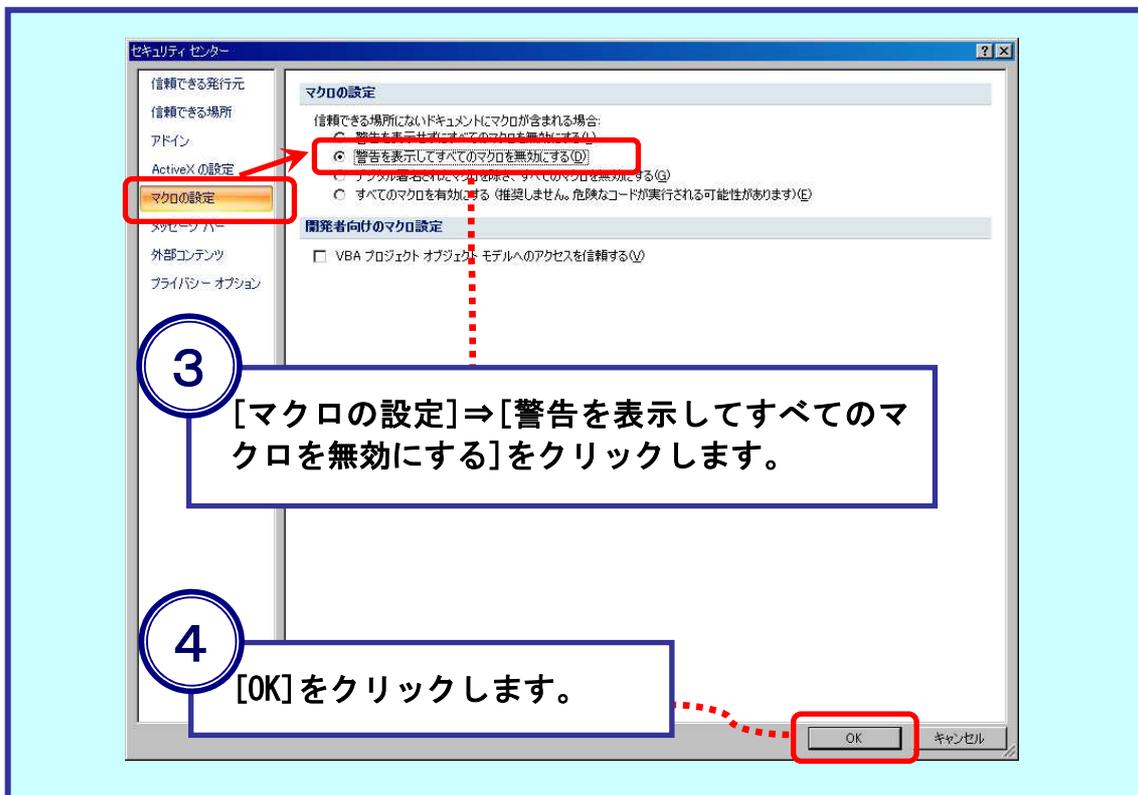
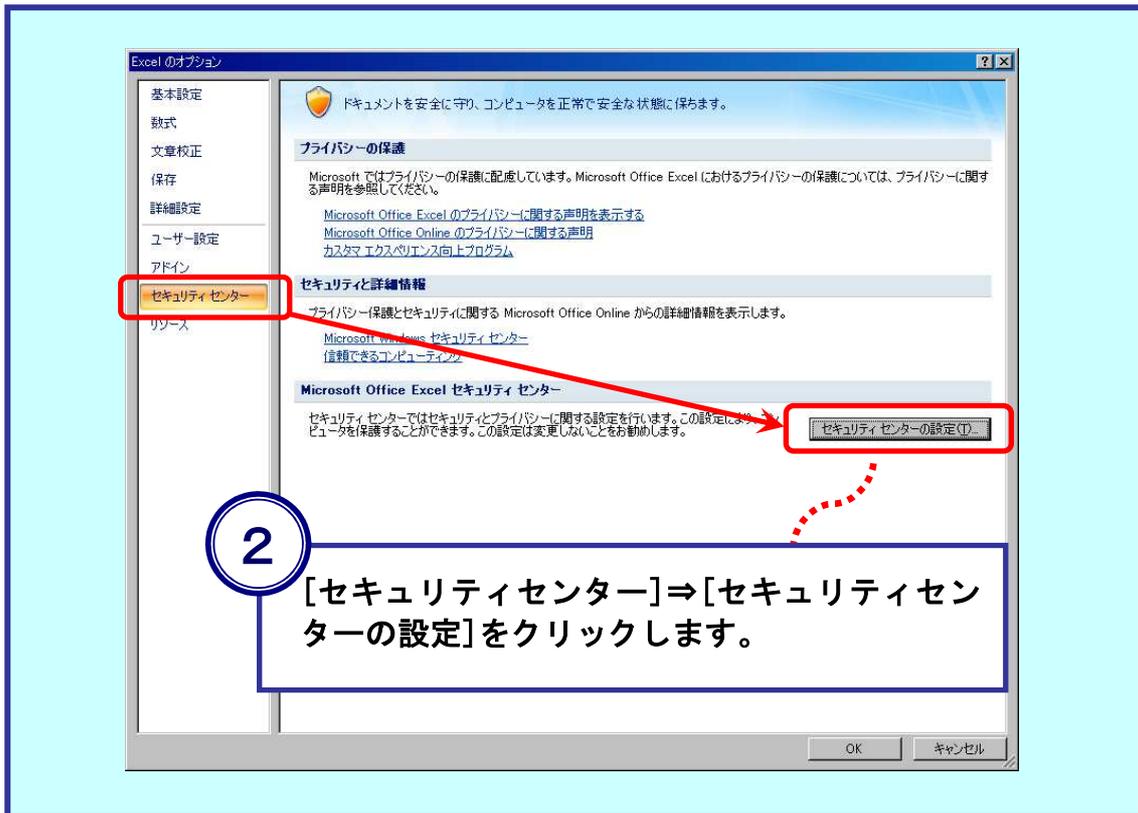
ツールが動かない方は？
※EXCEL2007 の場合

変更にあたっては、各社のセキュリティポリシーや
ルールに基づいて作業してください。

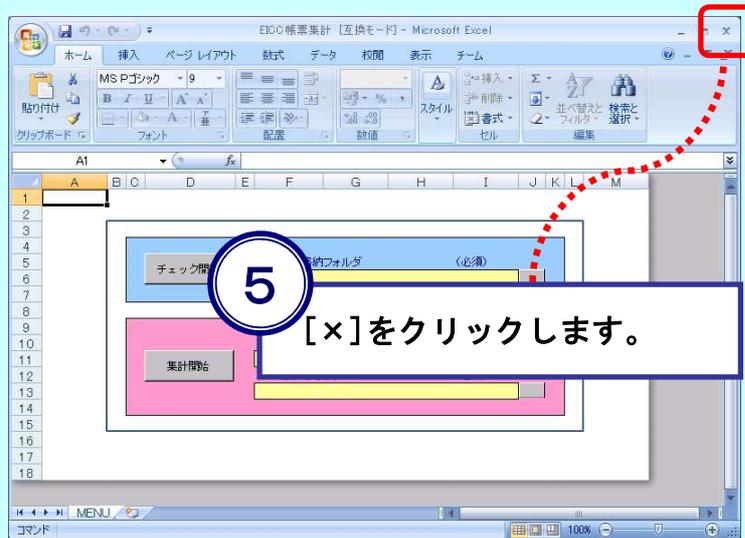


1

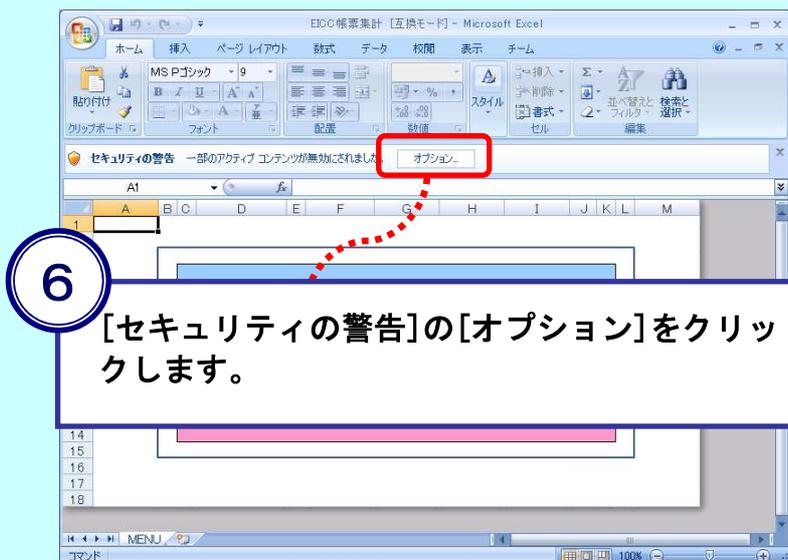
[Office ボタン]⇒[Excel のオプション]をクリックします。

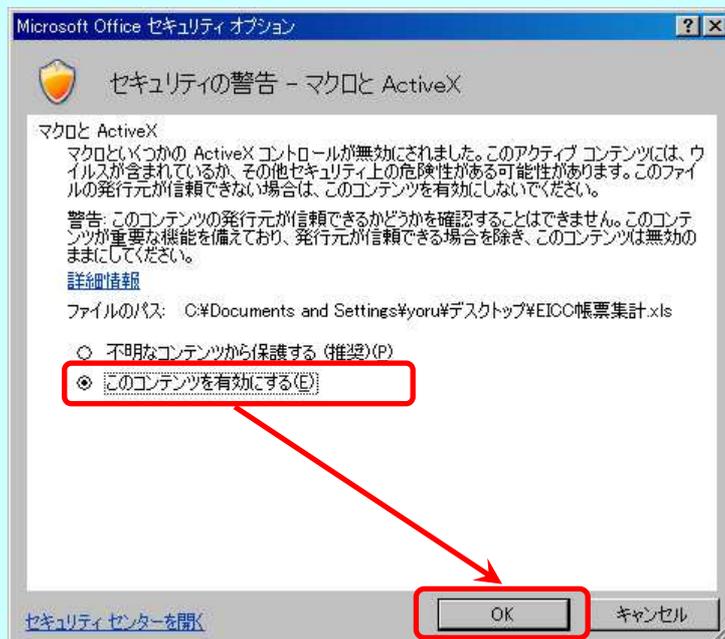


ツールを終了します。



ツールを再度起動し、マクロを有効にします。





7

[このコンテンツを有効にする]を選択し、[OK]をクリックします。

5. 対応方法

(5.2) ツールが動かない方は？【EXCEL2010】

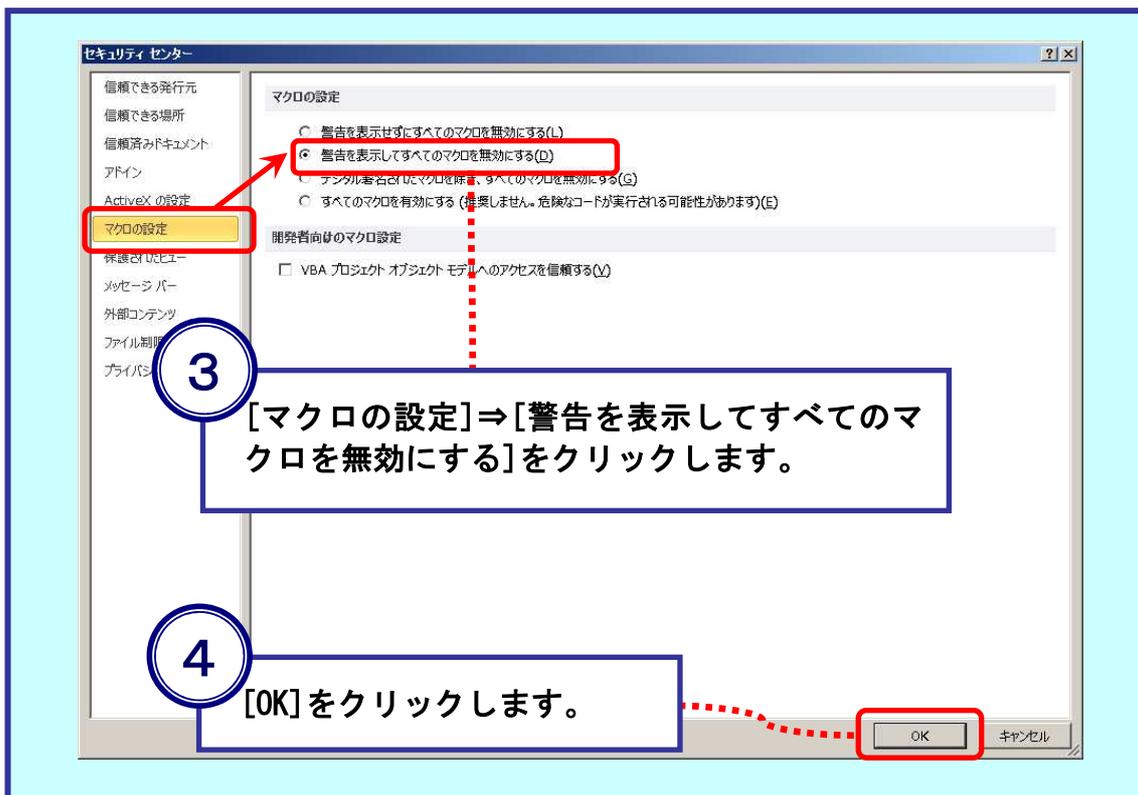
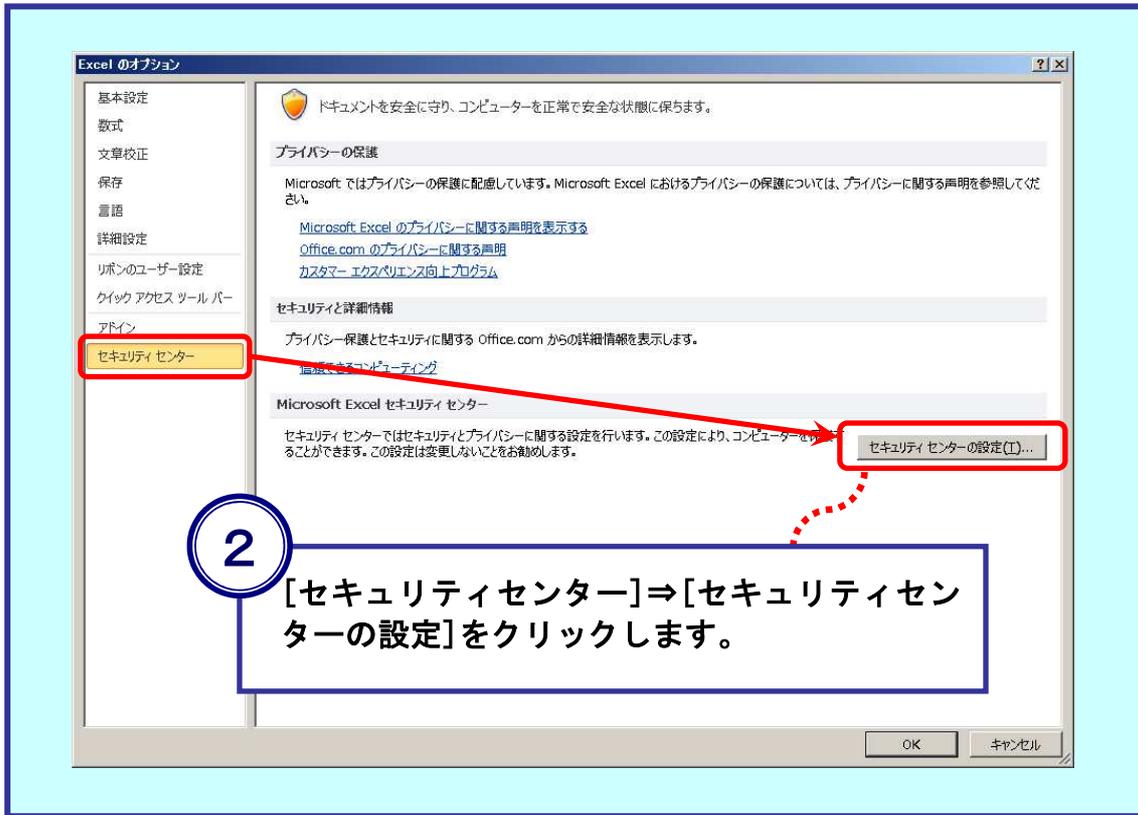
ツールが動かない方は？
※EXCEL2010 の場合

変更にあたっては、各社のセキュリティポリシーや
ルールに基づいて作業してください。

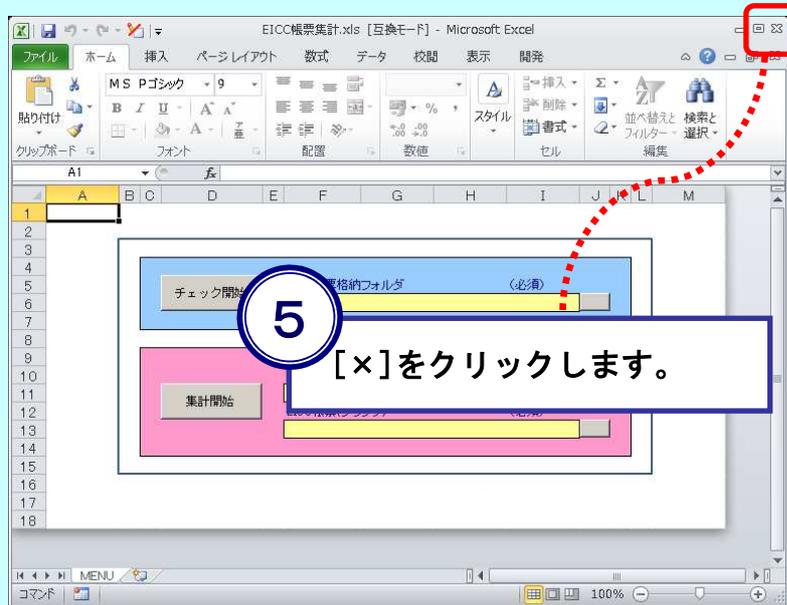


1

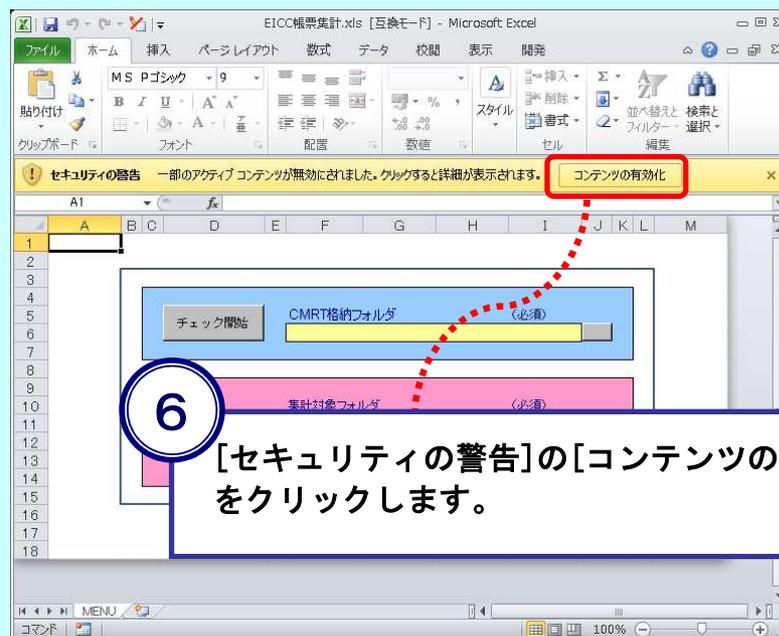
[ファイル]⇒[オプション]をクリックします。



ツールを終了します。



ツールを再度起動し、マクロを有効にします。



5. 対応方法

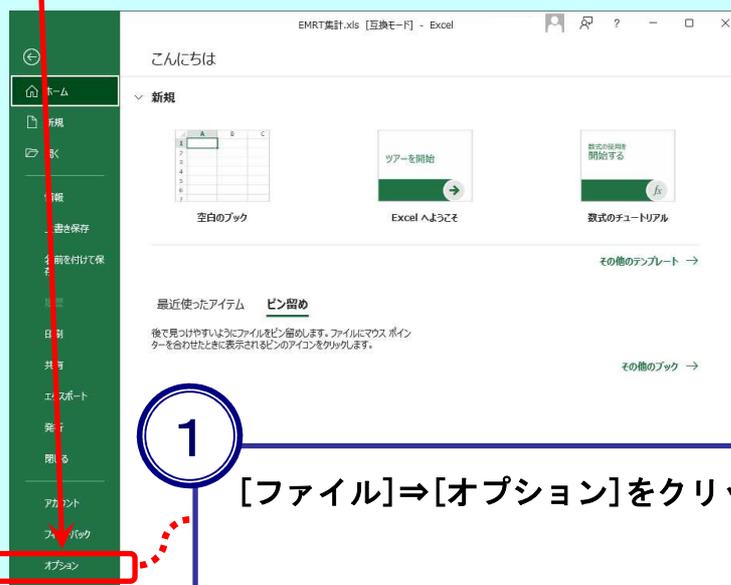
(5.3) ツールが動かない方は？

EXCEL2013/EXCEL2016/EXCEL2019/EXCEL2021

ツールが動かない方は？

※EXCEL2013 / EXCEL2016 / EXCEL2019 / EXCEL2021 の場合

変更にあたっては、各社のセキュリティポリシーや
ルールに基づいて作業してください。



[ファイル]⇒[オプション]をクリックします。

Excel のオプション

基本設定
数式
文章校正
保存
言語
詳細設定
リボンのユーザー設定
クイック アクセス ツール バー
アドイン
セキュリティセンター

ドキュメントを安全に守り、コンピューターを正常で安全な状態に保ちます。

プライバシーの保護
Microsoft ではプライバシーの保護に配慮しています。Microsoft Excel におけるプライバシーの保護については、プライバシーに関する声明を参照してください。
[Microsoft Excel のプライバシーに関する声明を表示する](#)

セキュリティと詳細情報
Office.com にアクセスして、プライバシー保護とセキュリティに関する詳細をご確認ください。
[信頼できるコンピューティング](#)

Microsoft Excel セキュリティセンター
セキュリティセンターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。

セキュリティセンターの設定(I)...

2 [セキュリティセンター]⇒[セキュリティセンターの設定]をクリックします。
※Excel2019 以降は「トラストセンター」に変更となっています。



セキュリティセンター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアプリ カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ
外部コンポーネント
ファイル制限
プライバシー オプション

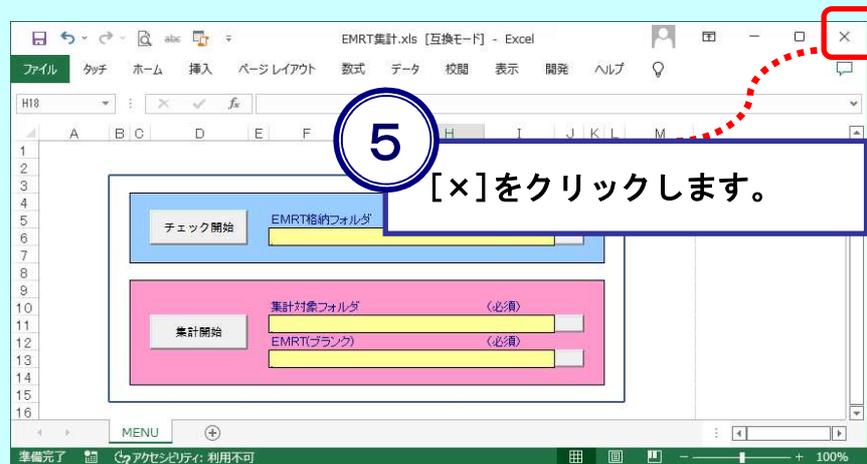
マクロの設定
 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)
 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)
 デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)
 すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)

開発者向けのマクロ設定
 VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(Y)

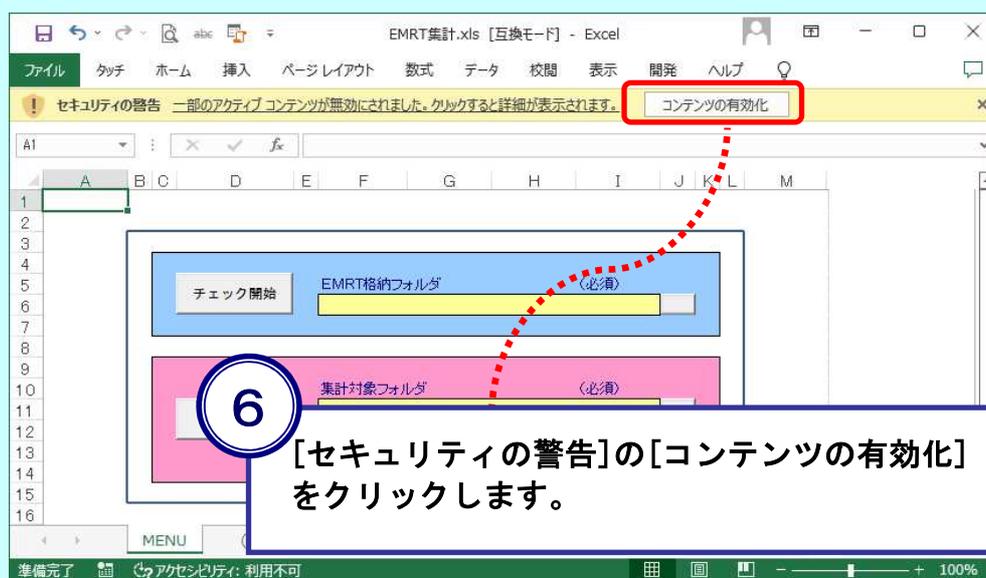
3 [マクロの設定]⇒[警告を表示してすべてのマクロを無効にする]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。

ツールを終了します。



ツールを再度起動し、マクロを有効にします。

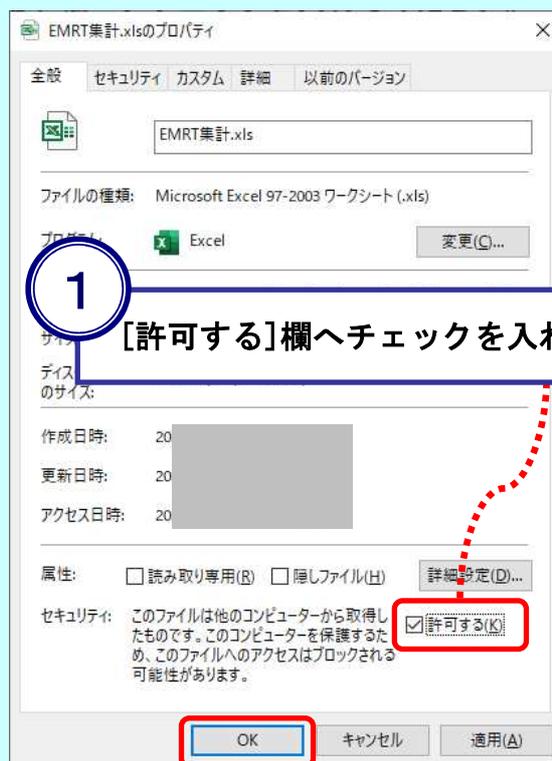


5. 対応方法

(5.4) ツールが動かない方は？

ツールが動かない方は？

・上記の方法でも動かない場合、プロパティを確認し、セキュリティの「許可する」欄へ、チェックを入れてください。



1

[許可する]欄へチェックを入れてください。

2

[OK]をクリックします。

6. 補足

(6.1) エラーメッセージ一覧

※メッセージ No が「E」で始まるものは、集計できません。

修正の上、回答を再送いただくよう、サプライヤーへご依頼ください。

No	エラーメッセージ	対処方法
E01	「Declaration」シートの会社情報([項目名])が未回答です。	「Declaration」シートの会社名が未回答です。 サプライヤーに会社情報の必須項目を入力頂くように依頼してください。
E02	ファイル形式が Excel 以外です。	取り込めないファイル形式です。 拡張子が「.xls」「.xlsx」以外の形式です。 サプライヤーに「.xlsx」形式でご返送頂くように依頼してください。 「.zip」等の圧縮ファイルの場合、展開後にファイルを取り込んでください。 なお、これに該当するファイルは、CMRT格納フォルダから移動されません。
E03	ファイルの形式は、使用中の Excel より新しいバージョンのファイル形式です。	使用中の Excel では取り込めないバージョンです。 Excel2003 をご使用の場合は、「.xlsx」形式は取り込めません。
E04	ファイルにパスワードが設定されています。	ファイルにパスワードが設定されている為、取り込めません。 パスワードを解除した上で再度取り込み処理を行ってください。 パスワードが設定されていないにもかかわらずこのエラーとなった場合は、対象のファイルを開いた後、上書き保存を行った上で再度取り込み処理を行ってください。
E05	ファイルが開かれているため取り込み処理ができませんでした。	対象ファイルが開かれている為、ファイルを移動できません。 ファイルを閉じた上で再度取り込み処理を行ってください。 ファイルを開いていないにもかかわらずこのエラーとなった場合は、ファイル名およびファイルの保存場所が長すぎる場合があります。ほかの場所へ移動した上で再度取り込み処理を行ってください。
E06	取り込みができないバージョンの帳票です。	本ツールでは取り込みができないバージョンです。 指定の URL より帳票をダウンロードしご利用いただけるようサプライヤーに依頼してください。 http://www.jama.or.jp/c_minerals/index.html
E07	指定以外のシートが存在します。(シート名)	標準シート(Instructions シート、Revision シート、Definitions シート、Declaration シート、Smelter List シート、Smelter List_[数字]シート、Checker シート、Product List シート、Product List_[数字]シート、Standard Look-up シート)以外のシートが存在します。 サプライヤーに上記以外のシートを削除して再度ご回答いただくように依頼してください。
E08	「Declaration」シートがありません。	「Declaration」シートがありません。 シート名が誤っている場合は、修正してから再度取り込み処理を行ってください。 「Declaration」シートが存在しない場合、再度サプライヤーにご回答頂くように依頼してください。
E09	「Smelter List」シートがありません。	「Smelter List」シートがありません。 シート名が誤っている場合は、修正してから再度取り込み処理を行ってください。 「Smelter List」シートが存在しない場合、再度サプライヤーにご回答頂くように依頼してください。
E10	「Product List」シートがありません。	申告範囲が部品単位となっている場合は、「Product List」シートが必要です。 シート名が誤っている場合は、修正してから再度取り込み処理を行ってください。 「Product List」シートが存在しない場合、再度サプライヤーにご回答頂くように依頼してください。

6. 補足

(6.2) ワーニングメッセージ一覧

※メッセージ No が「W」で始まるものは、集計対象となります。

No	エラーメッセージ	対処方法
WO1	「Declaration」シートの「申告範囲又はクラス」が「B. Product (or List of Products)」であるにもかかわらず、「Product List」シートに記述がありません。	申告範囲が部品単位となっている場合は、「Product List」シートの記述は必須です。サプライヤーに「Product List」シートを記述頂くように依頼してください。
WO2	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 が「No」または「Unknown」であるにもかかわらず、質問 No.2 に回答が入力されています。	質問 No.1 の回答で No または Unknown とした金属は、質問 No.2 の入力が必要ありません。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
WO3	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 または質問 No.2 が「No」または「Unknown」であるにもかかわらず、質問 No.3 に回答が入力されています。	質問 No.1 または質問 No.2 の回答で No または Unknown とした金属は、質問 No.3 の入力が必要ありません。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
WO4	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 または質問 No.2 が「No」または「Unknown」であるにもかかわらず、質問 No.4 に回答が入力されています。	質問 No.1 または質問 No.2 の回答で No または Unknown とした金属は、質問 No.4 の入力が必要ありません。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
WO5	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 または質問 No.2 が「No」または「Unknown」であるにもかかわらず、質問 No.5 に回答が入力されています。	質問 No.1 または質問 No.2 の回答で No または Unknown とした金属は、質問 No.6 の入力が必要ありません。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
WO6	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 または質問 No.2 が「No」または「Unknown」であるにもかかわらず、質問 No.6 に回答が入力されています。	質問 No.1 または質問 No.2 の回答で No または Unknown とした金属は、質問 No.6 の入力が必要ありません。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
WO7	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 または質問 No.2 が「No」または「Unknown」であるにもかかわらず、質問 No.7 に回答が入力されています。	質問 No.1 または質問 No.2 の回答で No または Unknown とした金属は、質問 No.7 の入力が必要ありません。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
WO8	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 または質問 No.2 が「No」または「Unknown」であるにもかかわらず、質問 C に回答が入力されています。	質問 No.1 または質問 No.2 の回答で No または Unknown とした金属は、質問 C の入力が必要ありません。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
WO9	「Declaration」シートの質問 No.1 と質問 No.2 で[金属]を「Yes」と回答されましたが「Smelter List」シートに[金属]がありません。	質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属が、「Smelter List」シートの項目「金属」に存在しません。サプライヤーに質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属は、「Smelter List」シートに回答頂くように依頼してください。同一のサプライヤーから複数ファイルにて回答頂いている場合で、同一のサプライヤーから回答頂いた別のファイルに該当の金属が記入されている場合は、そのまま集計いただいで問題ありません。
W10	「Declaration」シートの質問 No.1 または質問 No.2 で[金属]を「No」と回答されましたが「Smelter List」シートに[金属]が存在します。	質問 No.1 または質問 No.2 の回答で No とした金属が、「Smelter List」シートの項目「金属」に存在します。または質問 No.1 または質問 No.2 の回答が No にもかかわらず、「Smelter List」シートの製錬業者情報必須項目に入力があります。サプライヤーに質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属のみ、「Smelter List」シートに回答頂くように依頼してください。

次ページへ続く

No	ワーニングメッセージ	対処方法
W11	「Smelter List」シートの必須項目(項目名)が未記入です。〔シート名〕	「Smelter List」シートの製錬業者情報必須項目(*指定されている項目)が未記入です。サプライヤーに製錬業者情報の必須項目を入力頂くように依頼してください。
W12	「Smelter List」シートに対象でない鉱物(金属)があります。	「Smelter List」シートの金属に対象でない鉱物が存在します。サプライヤーに対象でない鉱物を除いた「Smelter List」シートで回答頂くように依頼してください。
W13	「Declaration」シートの質問 No.1 で[金属]が未回答です。	質問 No.1 の回答は必須です。サプライヤーに質問 No.1 に回答頂くように依頼してください。
W14	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 が“Yes”であるにもかかわらず、質問 No.2 が未回答です。	質問 No.1 の回答で Yes とした金属は、質問 No.2 の入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W15	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 と質問 No.2 が“Yes”であるにもかかわらず、質問 No.3 が未回答です。	質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属は、質問 No.3 の入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W16	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 と質問 No.2 が“Yes”であるにもかかわらず、質問 No.4 が未回答です。	質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属は、質問 No.4 の入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W17	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 と質問 No.2 が“Yes”であるにもかかわらず、質問 No.5 が未回答です。	質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属は、質問 No.5 の入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W18	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 と質問 No.2 が“Yes”であるにもかかわらず、質問 No.6 が未回答です。	質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属は、質問 No.6 の入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W19	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 と質問 No.2 が“Yes”であるにもかかわらず、質問 No.7 が未回答です。	質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属は、質問 No.7 の入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W20	「Declaration」シートの[金属]の質問 No.1 と質問 No.2 が“Yes”であるにもかかわらず、質問 C が未回答です。	質問 No.1 と質問 No.2 の回答で Yes とした金属は、質問 C の入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W21	「Declaration」シートの質問A～G が未回答です。記入したものをサプライヤーより入手してください。	質問 No.1 の回答に Yes がある場合、質問A～G の回答は必須です。サプライヤーに質問A～G に回答頂くように依頼してください。
W22	「Declaration」シートの質問Bが“Yes”であるにもかかわらず、備考欄が未入力です。	質問Bで Yes と回答した場合は、備考欄に URL の入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W23	「Declaration」シートの質問 E が“Yes, Using Other Format (Describe)”であるにもかかわらず、備考欄が未入力です。	質問 E で Yes, Using Other Format (Describe)と回答した場合は、備考欄に入力が必要。サプライヤーに回答内容に間違いがないか確認し、再度ご回答頂くように依頼してください。
W24	「Declaration」シートの会社情報〔項目名〕が未回答です。	「Declaration」シートの会社情報〔項目名〕は帳票の必須項目です。サプライヤーに入力の上、再送いただけるように依頼してください。

6. 補足

(6.3) チェック処理後、回収した EMRT の移動先

チェック処理後、EMRT はチェックの結果に従い、各フォルダへ振り分けられます。

チェック処理件数	51件	
集計可能	42件	
ワーニング	20件	ワーニングデータがありました。ワーニングリストを確認してください。
正常	22件	
集計不可	9件	
エラー	9件	エラーデータがありました。エラーリストを確認してください。

メッセージ有無/種別	チェック後のEMRT格納フォルダ	集計対象	対象EMRTの不備内容/具体的な不備例
メッセージ無し	・ Importフォルダ	○	-
メッセージ有り	ワーニングリスト	○	回答内容に不整合 例) DeclarationシートのQ1の回答がNoでQ6が記入されている金属がある
	エラーリスト	×	形式的なエラー 例) エクセル形式ではない

- ※ P.5 [(3.3) フォルダ構成早見表] も合わせて参照ください。
- ※ エクセル形式ではないデータは、各フォルダへ移動されません。

● Declaration 一覧

No.	会社固有の識別番号	会社名	連番	申告範囲又はクラス	申告範囲の説明	会社固有の識別番号の発
1	D:\Import\RMI\EMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		
2	D:\Import\RMI\EMRT_4-10_3-2	aaa	2	A. Company		
3	D:\Import\RMI\EMRT_4-10_3-2	aaa	3	A. Company		
4	D:\Import\RMI\EMRT_4-10_3-2	aaa	4	A. Company		
5	D:\Import\RMI\EMRT_4-10_3-2	aaa	5	A. Company		
6						

➤ 概要

- ◇ 取り込んだデータのうち、Declaration シートに記載されている内容を一覧出力した帳票です。

➤ 各項目について

- ◇ 会社固有の識別番号
Declaration シートに記載されていた会社固有の識別番号です。
- ◇ 会社名
Declaration シートに記載されていた会社名です。
- ◇ 連番
EMRT を取り込んだ際に、取込ファイル毎にシステムが自動的に割り当てる番号です。
会社名が同じファイルが複数あった場合、同じ連番が割り振られたデータは同一ファイルから取り込まれたデータであると見分けることができます。
内容を確認する際の参考としてください。
- ◇ 申告範囲又はクラス ~ 記入日
Declaration シートの該当項目に記載されていた内容です。

- ◇ コバルト回答 (QA1) ~ マイカ備考・添付書類 (QA7)
Declaration シートの質問 1 ~ 7 に記載されていた
回答です。
- ◇ A 回答 ~ G 備考・添付書類
Declaration シートの質問 A ~ G に記載されていた回答
です。
- ◇ 取込日
EMRT の集計処理を行った日付です。
- ◇ ファイル名
取り込んだ EMRT のファイル名です。

● Smelter 一覧

No	会社固有の識別番号	会社名	連番	申告範囲又はクラス	申告範囲の説明	製錬業者識別番号の入力
1	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company		
2	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company		
3	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company		
4	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company		
5	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company		
6	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company		
7	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company		
8	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company		
9	D#Import#RMIEMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company		

➤ 概要

- ◇ 取り込んだデータのうち、Smelter List シートに記載されている内容を一覧出力した帳票です。

➤ 各項目について

◇ 会社固有の識別番号

Declaration シートに記入されていた会社固有の識別番号です。

◇ 会社名

Declaration シートに記入されていた会社名です。

◇ 連番

EMRT を取り込んだ際に、取込ファイル毎にシステムが自動的に割り当てる番号です。

会社名が同じファイルが複数あった場合、同じ連番が割り振られたデータは同一ファイルから取り込まれたデータであると見分けることができます。

内容を確認する際の参考としてください。

◇ 申告範囲又はクラス、範囲の説明

Declaration シートの該当項目に記載されていた内容です。

◇ 製錬業者識別番号の入力列 ～ 備考

Smelter List シートに記載されていた内容です。

◇ スクリーニング

入力内容に不備があったため取り込まれなかったデータに「Y」が記入されます。

◇ 重複あり

他の行と入力内容が重複したため、1行にまとめられたデータに「Y」が記入されます。

● Product 一覧

No	会社固有の識別番号	会社名	連番	申告範囲 又は クラス	申告範囲の説明	製造者の製品番号
1	D:\Import\RM\EMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		product-1a
2	D:\Import\RM\EMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		product-1b
3	D:\Import\RM\EMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		product-1c
4	D:\Import\RM\EMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		product-20

➤ 概要

- ◇ 取り込んだデータのうち、Product List シートに記載されている内容を一覧出力した帳票です。
- ◇ 取り込みを行った EMRT の中に申告範囲「B:Product」が 1 件も無い場合、表示されません。

➤ 各項目について

- ◇ 会社固有の識別番号
Declaration シートに記入されていた会社固有の識別番号です。
- ◇ 会社名
Declaration シートに記入されていた会社名です
- ◇ 連番
CMRT を取り込んだ際に、取込ファイル毎にシステムが自動的に割り当てる番号です。
会社名が同じファイルが複数あった場合、同じ連番が割り振られたデータは同一ファイルから取り込まれたデータであると見分けることができます。
内容を確認する際の参考としてください。
- ◇ 申告範囲又はクラス、範囲の説明
Declaration シートの同項目に記載されていた内容です。
- ◇ 製造者の製品番号 ~ 備考
Product List シートに記載されていた内容です。

● 提出用 EMRT (Dec サマリー)

設問	貴社の回答		Yes	No	Unknown	Not applicable for this declaration	DRC only India and/or Madagascar only	空欄
コバルト回答(QA1)	Yes		5社	0社	0社	0社		0社
マイカ回答(QA1)	Yes		5社	0社	0社	0社		0社
コバルト回答(QA2)	Yes		5社	0社	0社			0社
マイカ回答(QA2)	Yes		5社	0社	0社			0社
コバルト回答(QA3)	Yes		5社	0社	0社		0社	0社
マイカ回答(QA3)			0社	0社	0社		0社	5社
コバルト回答(QA4)	Yes		5社	0社	0社			0社
コバルト回答(QA5)		100%						
マイカ回答(QA5)		100%						
コバルト回答(QA6)	Yes		5社	0社	0社			0社
マイカ回答(QA6)	Yes		0社	0社	0社			5社
コバルト回答(QA7)	Yes		5社	0社	0社			0社
マイカ回答(QA7)	Yes		0社	0社	0社			5社

➤ 概要

- ◇ 取り込んだデータの Declaration シートに記載されている質問 No. 1～7の回答を集計し、貴社の回答として取り纏めた帳票です。

➤ 各項目について

◇ 「貴社の回答」

質問 No. 1～7の回答を集約し、取りまとめた結果です。
 質問 No. 5には会社情報等の入力画面で選択された回収率を記載しています。
 質問 No. 7には会社情報等の入力画面で選択された回答を記載しています。

◇ 「Yes～空欄」の各項目

質問 No. 1～7への回答を、設問別に回答が Yes、No、Unknown、Not applicable for this declaration、DRC only、India and/or Madagascar only、空欄のファイル数を算出した結果です。

● 提出用 EMRT (SML 一覧)

	A	B	C	D	E	F	
1	製錬業者識別番号の入力列	金属	Smelter Look-Up(製錬所検索)	製錬所名	製錬業者所在地:国	製錬業者識別番号	製錬
2		Mica	Smelter not listed	test smelter	japan		Enter :
3		Mica	DARUKA MINCHEM PVT LTD		INDIA	CID004001	RMI
4							
5							
6							
7							
8							
9							

➤ 概要

- ◇ 取り込んだデータのうち、Smelter List シートに記載されている内容を出力したシートです。
Smelter List シートに記載されていた内容から、スクリーニング/重複あり(※)を取り除いた結果です。

※同帳票内「Smelter 一覧」シートにて、「スクリーニング/重複あり」の項目に「Y」が付与されているデータが対象です。

スクリーニング

入力に不備があり、集計の対象外とみなされたもの。

重複あり

同じ製錬業者のデータが同一帳票内に確認された場合、重複分については1データに集約されます。

※重複は以下のように判定しています。

- ・ Smelter Look-Up (製錬所検索) が「Smelter not listed」の場合、備考を含む、全ての項目が一致している場合に重複と判定する。
- ・ Smelter Look-Up (製錬所検索) が「Smelter not yet identified」の場合、金属、Smelter Look-Up (製錬所検索) が一致している場合に重複と判定する。
- ・ Smelter Look-Up (製錬所検索) が上記以外の場合、金属～製錬業者識別番号、鉱山の所在地 (国) が一致している場合に重複と判定する。

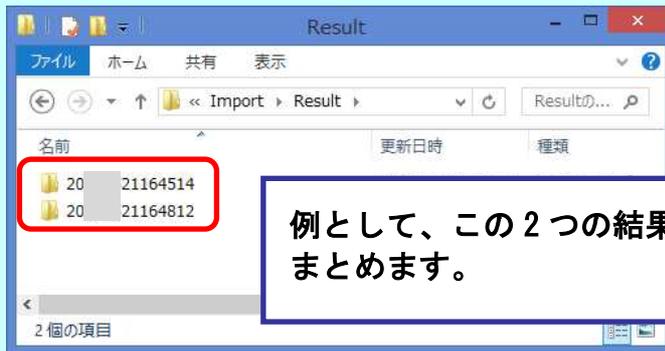
➤ 各項目について

- ◇ 「金属～備考」の各項目
Smelter List シートに記載されていた内容と同じ項目です。

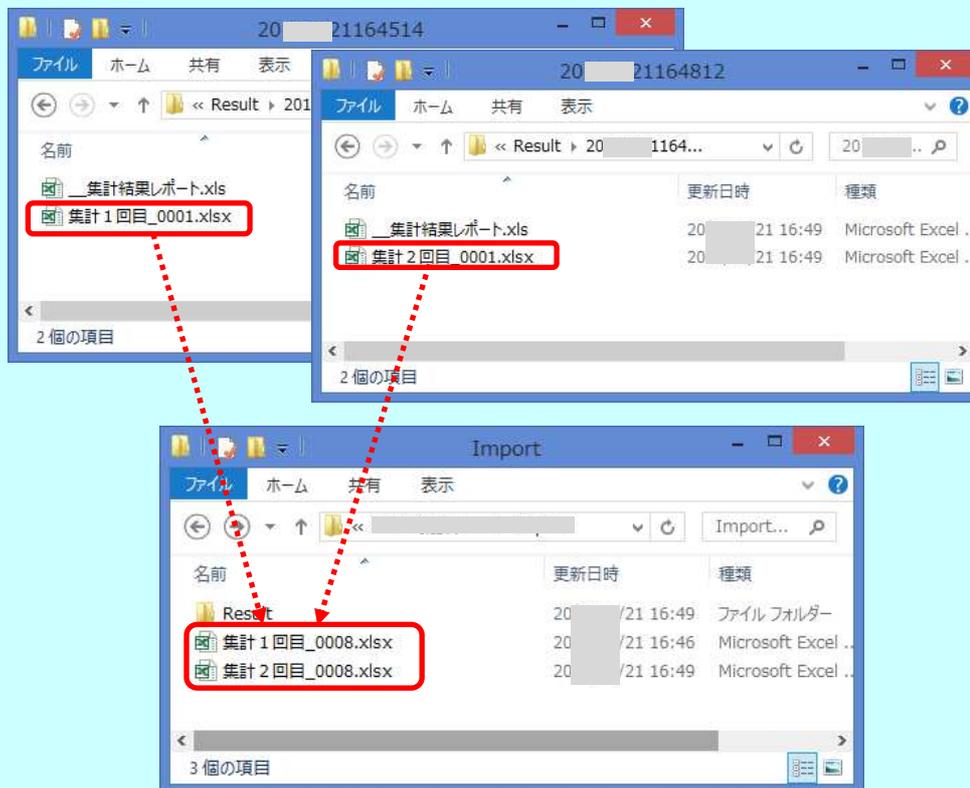
6. 補足

(6.5) 複数回に分けて集計した結果内容をまとめる方法

集計結果フォルダを確認します。



それぞれのフォルダに作成された「提出用 EMRT」をコピーして、集計対象フォルダに格納します。



集計処理を実施します。

チェック開始

EMRT格納フォルダ (必須)
C:\EMRT集計ツール\EMRT格納フォルダ

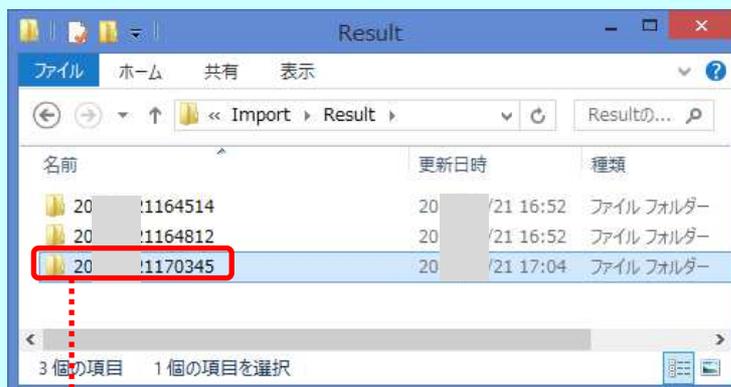
集計開始

集計対象フォルダ (必須)
C:\EMRT集計ツール\Import

EMRT(プランク) (必須)
C:\EMRT集計ツール\EMRT(プランク)

詳細手順は、本マニュアル P. 16 [(4.7) EMRT
を集計する] をご参照ください。

集計結果フォルダを確認します。



出力された結果ファイルに内容がまとめられています。
※集計結果レポートのデータで一部、手作業での合算が必要な箇所があります。各シートの詳細は次ページ以降をご確認ください。

6. 補足

(6.6) 集計結果レポートの確認

● Declaration 一覧

No	会社固有の識別番号	会社名	連番	申告範囲又はクラス	申告範囲の説明	会社固有の識別番号の発行元	住所
1	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company			
2	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company			
3							

集計実施時のファイルから合算されるため、元ファイルの一覧は得られません。必要な場合は元ファイルを集計対象として処理を実施願います。

● Smelter 一覧

No	会社固有の識別番号	会社名	連番	申告範囲又はクラス	申告範囲の説明	製錬業者識別番号の入力列	金属
1	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company			Mica Smelting
2	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company			Mica Smelting
3	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company			Mica Smelting
4	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	1	A. Company			Mica Smelting
5	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company			Mica Smelting
6	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company			Mica Smelting
7	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company			Mica Smelting
8	D:\Import\RMI\EMRT_4-10.3-2	aaa	2	A. Company			Mica Smelting

元ファイルから実施した場合と同様の一覧は得られますが、連番のみ今回の集計結果に基づき付与されています。

● Product 一覧

No	会社固有の識別番号	会社名	連番	申告範囲 又は クラス	申告範囲の説明	製造者の製品番号
1	D.*Import*RMLEMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		product-1a
2	D.*Import*RMLEMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		product-1b
3	D.*Import*RMLEMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		product-1c
4	D.*Import*RMLEMRT_4-10_3-2	aaa	1	A. Company		product-20

集計実施時のファイルから合算されるため、元ファイルの一覧は得られません。必要な場合はそれぞれの結果ファイルから合算願います。

● 提出用 EMRT (Dec サマリー)

設問	貴社の回答	Yes	No	Unknown	Not applicable for this declaration	DRC only India and/or Madagascar only	空欄
コバルト回答 (QA1)	Yes	5社	0社	0社	0社		0社
マイカ回答 (QA1)	Yes	5社	0社	0社	0社		0社
コバルト回答 (QA2)	Yes	5社	0社	0社			0社
マイカ回答 (QA2)	Yes	5社	0社	0社			0社
コバルト回答 (QA3)	Yes	5社	0社	0社		0社	0社
マイカ回答 (QA3)	Yes	0社	0社	0社		0社	5社
コバルト回答 (QA4)	Yes	5社	0社	0社			0社
コバルト回答 (QA5)							
マイカ回答 (QA5)	100%						
コバルト回答 (QA6)	Yes	5社	0社	0社			0社
マイカ回答 (QA6)	Yes	0社	0社	0社			5社
コバルト回答 (QA7)	Yes	5社	0社	0社			0社
マイカ回答 (QA7)	Yes	0社	0社	0社			5社

回答内容は元ファイルと同様の一覧が得られますが、回答社数のカウントは得られません。必要な場合はそれぞれの結果ファイルから合算願います。

- 提出用 EMRT (SML 一覧)

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled '集計結果レポート.xls [互換モード] - Excel'. The active sheet is '提出用EMRT (Decサマリー)'. The table contains the following data:

	A	B	C	D	E	F	G
1	製錬業者識別番号の入力列	金属	Smelter Look-Up(製錬所検索)	製錬所名	製錬業者所在地:国	製錬業者識別番号	製錬
2		Mica	Smelter not listed	test smelter	japan		Enter s
3		Mica	DARUKA MINCHEM PVT.LTD		INDIA	CID004001	RMI
4							
5							
6							
7							
8							
9							

元ファイルから実施した場合と同様の一覧が
得られます。

6. 補足

(6.7) 提出用 EMRT の確認

● Declaration

Select Language Preference. Here:
選擇您的語言:
表示言語をここから選択してください:
사용할 언어를 선택하십시오:
Sélectionner la langue préférée ici:

English

The purpose of this document is to collect sourcing information on cobalt or natural mica.

Mandatory fields are noted with an asterisk (*). Consult the instructions tab for guidance on how to answer each question.

Company Information

Company Name (*):	
Declaration Scope or Class (*):	
Description of Scope:	

元ファイルから実施した場合と同様の一覧が得られます。

● Smelter List

TO BEGIN:

Option A: If you know the Smelter Identification Number, input the number in Column A (columns B, C, E, F, G, I and J will auto-populate); D will grey out.

Option B: If you have a cobalt or natural mica and Smelter Look-up name combination, complete the following steps:
Step 1. Select Metal in column B
Step 2. Select from dropdown in column C

Option C: If you have a cobalt or natural mica and Smelter Name combination, complete the following steps:
Step 1. Select Metal in column B
Step 2. Select "Smelter Not Listed" in the Smelter Look-up drop down and complete columns D & E
Step 3. Enter all available smelter information in columns H through Q

(*) Mandatory fields are noted with an asterisk.
(1) Entry required when Smelter Look-up = "Smelter Not Listed"

NOTE: A combination of Options A, B and C may be used to complete the Smelter List. Do not alter autopopulated cells. All errors in the Smelter Look-up should be reported to RBA by contacting RMI@ResponsibleBusiness.org.

© 2022 Responsible M

Smelter Identification Number	Metal (*)	Smelter Look-up (*)	Smelter Name (1)	Smelter Country (*)	Smelter Identification Number	Source of Smelter Identification Number	Smelter
Input Column							

元ファイルから実施した場合と同様の一覧が得られます。

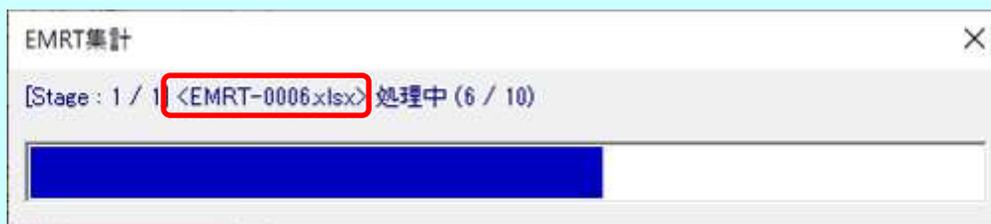
提出用 EMRT が複数に分割された場合、Declaration シートの質問 No.1 及び質問 No.2 で Yes と選択した金属名の製錬業者情報が全て Smelter List シートに含まれない場合があります。

その場合、Checker シートの 65~68 行目が未記入の必須項目として赤色表示されますが、他のファイルに含まれておりますので、そのまま提出いただいて問題ありません。

6. 補足

(6.8) 処理が動作しない場合は？

- 進捗バーが静止したまま止まってしまった
(ファイル名が表示されている場合)



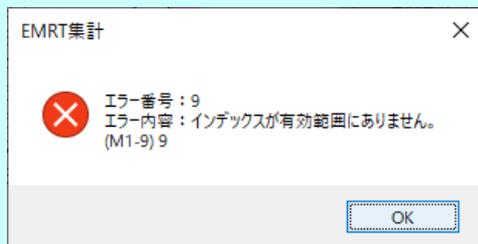
進捗バーに表示されているファイルに何らかの問題がある可能性があります。該当ファイルを取り除いて再度、実施してみてください。

(ファイル名が表示されていない場合)



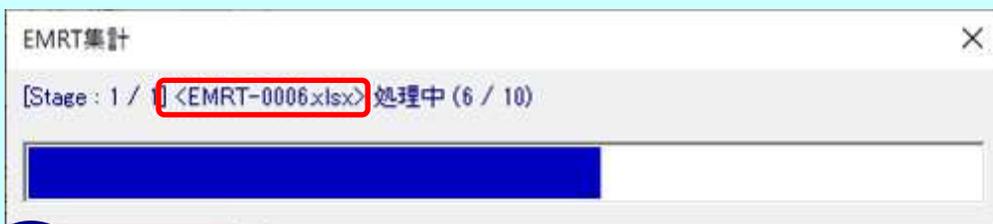
処理中の可能性もあるため、少々お待ちください。
それでも変化がないようでしたら、ツール本体を再起動していただき、同じ条件で処理を実施してみてください。

● エラーポップアップが表示された



1

ツール本体に何らかの問題がある可能性があります。同じ条件で処理を実施しても変わらないようでしたら、エラーポップアップを表示させたまま背面にある進捗バーを確認してください。



2

ファイル名が表示されているようであれば、該当ファイルを取り除き、再度、処理を実施してください。

6. 補足

(6.9) 会社情報等の入力 (1 / 2)

提出用EMRTに転記する会社情報の入力画面です。提出先が複数社ある場合に入力内容を保存／呼出することもできます。(保存ボタン／OKボタン、呼出ボタンをご参照ください)

会社情報等の入力 (1 / 2) ×

作成するEMRTのファイル名 (*)

1 .xlsx

適用外 2
コバルト
マイカ

展開先からの回収率 (*)

全ての製錬業者又は加工業者情報を報告していますか? (*)

会社情報

会社名 (*)	5
申告範囲又はクラス (*)	6
申告範囲の説明	7
会社固有の識別番号	8
会社固有の識別番号の発行元	9
住所	10
連絡先担当者名 (*)	11
連絡先担当者の電子メール (*)	12
連絡先担当者の電話番号 (*)	13
回答責任者名 (*)	14
回答責任者の役職	15
回答責任者の電子メール (*)	16
回答責任者の電話番号	17
記入日 (*)	18

※日付入力時の注意点※
入力形式を間違えると、自動変換で日と月が入れ替わりますので、ご注意ください。

例 2023年5月8日と入力する場合
<正式>
「08-May-2023」
→ 「08-May-2023」 自動変換OK
<誤入力>
「08-05-2023」 or 「08/05/2023」
→ 「05-Aug-2023」 自動変換NG (日と月入れ替わり)

1 次頁へボタンをクリックします。

保存 呼出 クリア 次頁へ OK

#	項目名	解説	備考
1	作成するEMRTのファイル名	集計の結果、作成される提出用EMRTのファイル名を入力します。 (拡張子を入力する必要はありません) 入力されたファイル名の後ろには、連番(4桁)が付与されます。	必須項目
2	適用外	該当の金属がこの報告で適用外の場合にチェックします。	
3	展開先からの回収率	ドロップダウンリストから回収率を選択します。 選択された値が質問No.5の回答に反映されます。	必須項目 ※適用外の場合は不要
4	質問 No.7の回答	ドロップダウンリストから回答を選択します。 選択された値が質問No.7の回答に反映されます。	必須項目 ※適用外の場合は不要
5	会社名	会社名を入力します。	必須項目
6	申告範囲又はクラス	ドロップダウンリストから申告範囲又はクラスを選択します。	必須項目
7	申告範囲の説明	申告範囲の説明を入力します。	「申告範囲又はクラス」で、 Cを選択した場合は必須
8	会社固有の識別番号	会社固有の識別番号を入力します。	
9	会社固有の識別番号の発行元	会社固有の識別番号の発行元を入力します。	
10	住所	住所を入力します。	
11	連絡先担当者名	連絡先担当者名を入力します。	必須項目
12	連絡先担当者の電子メール	連絡先担当者の電子メールを入力します。	必須項目
13	連絡先担当者の電話番号	連絡先担当者の電話番号を入力します。	必須項目
14	回答責任者名	回答責任者名を入力します。	必須項目
15	回答責任者の役職	回答責任者の役職を入力します。	
16	回答責任者の電子メール	回答責任者の電子メールを入力します。	必須項目
17	回答責任者の電話番号	回答責任者の電話番号を入力します。	
18	記入日	記入日を入力します。日付以外の入力は出来ません。	必須項目

会社情報等の入力 (2 / 2) ×

1 集計の結果、紛争鉱物を使用していない場合、以下の入力事項を提出用EMRTへ反映します。

2 集計の結果、紛争鉱物を使用していない場合、以下の入力事項を提出用EMRTへ反映せず、プランク(未記入)とします。

質問

質問	回答	備考
A. 責任ある鉱物調達方針を確定しましたか? (*)	3	4
B. その責任ある鉱物調達方針は、貴社のホームページで閲覧できますか? (回答が「はい」の場合、その方針が掲載されているURLをコメント欄に記入する) (*)	5	6
C. 貴社は直接サプライヤーに対し、独立民間監査会社の監査プログラムにより、デュー・ディリジェンス業務が認証された製錬業者からコバルトを、また認証された加工業者から天然マイカを調達することを要求していますか? (*)	7	8
	マイカ	10
D. 責任ある鉱物調達のためのデュー・ディリジェンス対策を実施していますか? (*)	11	12
E. 貴社は関連するサプライヤーのコバルト及び/又は天然マイカサプライチェーン調査を行っていますか? (*)	13	14
F. サプライヤーからのデュー・ディリジェンス情報を貴社の期待を基に検証していますか? (*)	15	16
G. 貴社の検証プロセスには是正措置管理が含まれていますか? (*)	17	18

保存 前頁へ OK

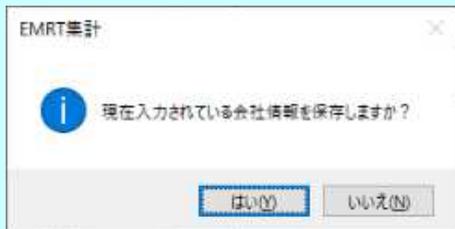
1

画面右下のOKボタンをクリックします。

(※各画面の必須項目を全て入力した後に押せるようになります)

#	項目名	解説	備考
1	反映します	集計の結果、質問No.1~2が全て「No」または「Unknown」と回答が得られた場合で、提出用EMRTに質問A~Gの内容を反映させたい場合に選択します。 ※質問No.1~2が全て「No」または「Unknown」の場合、質問A~Gは必須ではありません。	択一項目
2	反映しません	集計の結果、質問No.1~2が全て「No」または「Unknown」と回答が得られた場合で、入力内容を反映させたくない場合に選択します。 ※質問No.1~2が全て「No」または「Unknown」の場合、質問A~Gは必須ではありません。	択一項目
3	回答A	質問Aに対する回答を選択します。	必須項目
4	備考A	質問Aに対する備考を入力します。	
5	回答B	質問Bに対する回答を選択します。	必須項目
6	備考B	質問Bに対する備考を入力します。 Yesを選択された場合はURLの入力が必須となります	質問BにYesと回答の場合は必須
7	回答C(コバルト)	質問C(コバルト)に対する回答を選択します。	コバルトが適用外でない場合 必須項目
8	備考C(コバルト)	質問C(コバルト)に対する備考を入力します。	
9	回答C(マイカ)	質問C(マイカ)に対する回答を選択します。	マイカが適用外でない場合 必須項目
10	備考C(マイカ)	質問C(マイカ)に対する備考を入力します。	
11	回答D	質問Dに対する回答を選択します。	必須項目
12	備考D	質問Dに対する備考を入力します。	
13	回答E	質問Eに対する回答を選択します。	必須項目
14	備考E	質問Eに対する備考を入力します。	
15	回答F	質問Fに対する回答を選択します。	必須項目
16	備考F	質問Fに対する備考を入力します。	
17	回答G	質問Gに対する回答を選択します。	必須項目
18	備考G	質問Gに対する備考を入力します。	

入力内容が変更されている場合



2

保存確認メッセージが表示されます。いずれかのボタンをクリックします。

「はい(Y)」を選択した場合

保存処理を実施します。

「いいえ(N)」を選択した場合

入力内容を保存せずに次の処理に進みます。
(P. 53 ⑥以降参照)

会社情報ファイルの保存先を指定します。



3

保存先を選択します。

4

ファイル名を入力します。

5

保存ボタンをクリックします。

A. 「保存(S)」を選択した場合

入力内容を保存して後続処理を実施します。
(P54. ⑥以降参照)

次回、会社情報等の入力画面を開いた時の初期値として現在の内容が記憶されます。

B. 「キャンセル」を選択した場合

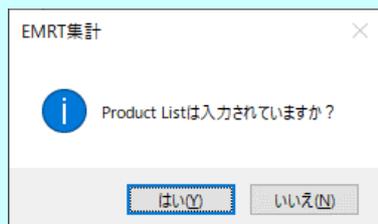
会社情報を保存せずに、「会社情報等の入力 (2/2)」画面に戻ります。

※保存先に同じファイル名がある場合



上書き確認メッセージが表示されます。「いいえ(N)」を選択した場合は、会社情報の保存の画面に戻ります。

※調査範囲を「B: Product」で申告の場合



6

Product List入力確認メッセージが表示されます。
※調査範囲が「B: Product」の場合は「Product List」への記入が必須です。

「はい(Y)」を選択した場合

EMRT(空白)に指定されたファイルの内容で、集計処理を実施します。

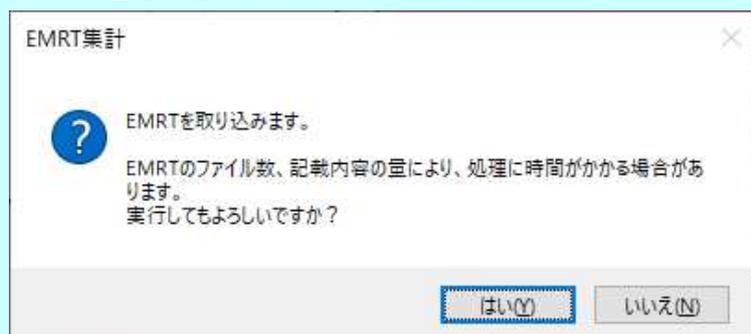
※Product Listシートにデータが無い場合は、EMRT(空白)に指定されたファイルのProduct Listシートが開かれますので、部品情報を入力してください。

「いいえ(N)」を選択した場合

EMRT(空白)に指定されたファイルのProduct Listシートが開かれますので、部品情報を入力してください。

集計処理が開始される前に確認メッセージが表示されます。

※集計処理中にExcelを使用することはできません。



6. 補足

(6.11) 会社情報等の入力(保存ボタンの説明)

項目名	解説
保存ボタン	現在入力されている内容を任意の会社情報ファイルに保存します。



1 会社情報入力1 / 2ページまたは2 / 2ページ左下の「保存」ボタンをクリックします。



2 保存先を選択します。

3 ファイル名を入力します。

4 保存ボタンをクリックします。

保存先に同じファイル名がある場合



5 上書き確認メッセージが表示されます。いずれかのボタンをクリックします。

「はい(Y)」を選択した場合

入力内容を上書き保存して、会社情報等の入力画面へ戻ります。

次回、会社情報等の入力画面を開いた時の初期値として現在の内容が記憶されます。

「いいえ(N)」を選択した場合

再度、保存先選択ダイアログが表示されます。

6. 補足

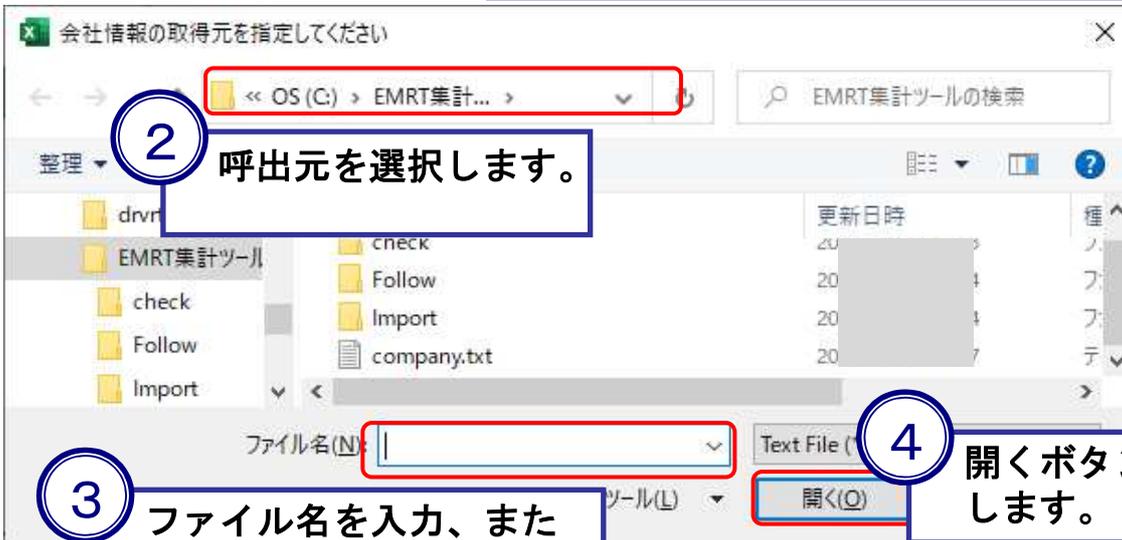
(6.12) 会社情報等の入力(呼出ボタンの説明)

項目名	解説
呼出ボタン	任意の会社情報ファイルを選択して各項目に値をセットします。



1

会社情報入力1 / 2ページ左下の「呼出」ボタンをクリックします。



2

呼出元を選択します。

3

ファイル名を入力、または選択します。

4

開くボタンをクリックします。



正常に呼出が完了した場合

呼び出した内容で、画面の各項目に値がセットされます。

次回、会社情報等の入力画面を開いた時の初期値として現在の内容が記憶されます。

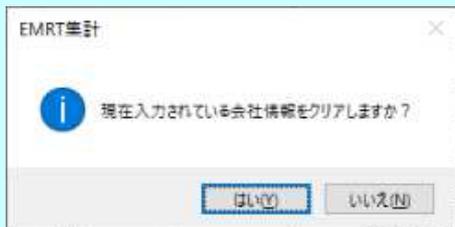
6. 補足

(6.13) 会社情報等の入力(クリアボタンの説明)

項目名	解説
クリアボタン	会社情報等の入力(1 / 2)の各項目の値をクリアします。



1 会社情報入力1 / 2ページ左下の「クリア」ボタンをクリックします。



2 クリア確認メッセージが表示されます。いずれかのボタンをクリックします。



「はい(Y)」を選択した

会社情報等の入力(1 / 2)の入力内容をクリアします。



「いいえ(N)」を選択し

入力内容をクリアせずに会社情報等の入力画面へ戻ります。